

会 告 目 次

研究発表会開催通知

第 89 回 計算機アーキテクチャ研究会	2
第 57 回 オペレーティング・システム研究会	3
第 44 回 数値解析研究会	4
第 89 回 ソフトウェア工学研究会	4
第 60 回 グラフィクスと CAD 研究会	6
本会協賛等の行事案内	7
平成 4 年度研究賞の表彰	8
「アドバンスト・データベースシステム・シンポジウムおよび併設講習会」開催について	12
「学会誌特集 세미나: ソフトウェアマネジメント」開催について	15
「第 34 回 プログラミング・シンポジウム」開催のお知らせ	17
「1993 情報学シンポジウム」開催について	20
「自然言語処理シンポジウム」開催について	23
第 7 回「大学と科学」公開シンポジウム	25
50% DISCOUNT AVAILABLE ON IFIP PUBLICATIONS FROM ELSEVIER/NORTH-HOLLAND	26
論文誌特集号「画像の認識・理解シンポジウム MIRU '92」論文募集	27
「論文誌」への英文論文掲載と「欧文誌“JIP”」の統合について	27
論文誌のご購読について	28
有料会告について	29
平成 4 年度会費, 論文誌・欧文誌購読費の納入について	29
海外からの送金方法について	30
支部だより	31
会 議 案 内	33
教 官 募 集	35
雑 報	35
編 集 室	36

研究発表会開催通知

(平成4年11月15日～12月31日)

研究会	日	時	会場	備考
マルチメディア通信と分散処理	11月19日(木) 11月20日(金)	9:00～17:00 9:00～17:00	琉球大	前号参照
人工知能	11月19日(木) 11月20日(金)	13:00～17:15 9:30～16:00	同上	同上
*コンピュータビジョン	11月19日(木) 11月20日(金) 11月21日(土)	9:00～17:10 9:00～17:30 9:00～12:00	京大	同上
自然言語処理	11月19日(木) 11月20日(金)	13:30～17:00 10:00～15:50	京大会館	同上
アルゴリズム	11月20日(金)	9:30～15:20	広島大	同上
コンピュータと教育	11月20日(金)	13:00～17:00	機械振興会館	同上
人文科学とコンピュータ	11月27日(金)	10:30～17:00	中京大	同上
計算機アーキテクチャ	12月3日(木) 12月4日(金)	13:00～17:30 9:00～16:00	弘前大	下記参照
オペレーティング・システム	12月4日(金)	11:00～16:30	機械振興会館	同上
数値解析	12月4日(金)	13:00～17:00	お茶の水女子大	同上
ソフトウェア工学	12月14日(月) 12月15日(火) 12月16日(水)	10:00～18:00 9:30～18:40 9:30～15:25	電総研	同上
グラフィクスとCAD	12月17日(木) 12月18日(金)	10:30～17:00 9:00～16:30	常盤工業会館	同上

*開催日時が前号(10月号)と変更になっております。

◆ 第89回 計算機アーキテクチャ研究会

(発表件数: 16件)

(主査: 富田眞治, 幹事: 後藤厚宏, 村上和彰, 矢野陽一)

日時 平成4年12月3日(木) 13:00～17:30
4日(金) 9:00～16:00

会場 弘前大学 理学部 2階 大会議室

〔弘前市文京町3, 東北新幹線: 盛岡下車, 高速バス「ヨードル号」: 弘前下車(約2時間), 車で約10分。〕

Tel. 0172 (36) 2111)

議題

12月3日(木)

(1) 超細粒度 VLIW 計算機 KIDOCH の特徴とCコンパイラの性能評価

安倍正人, 岡部公起, 根元義章(東北大)

〔概要〕 一般の計算機の1命令を複数のステップで実現し, 特に条件分岐の時に高速化を図る。

(2) ドーナツ構造 Loop Structured Computer (DLSC) のプロトタイプ動作特性

石田 努, 吉岡良雄(弘前大)

〔概要〕 プロトタイプの各部の動作時間や待ち時間, 利用率などを測定し, DLSCの構成方法について述べる。

(3) Loop Structured Computer (LSC) によるベクトル演算について

吉岡良雄(弘前大)

〔概要〕 プロトタイプのLSCを用いてベクトル演算時の各部の動作特性を示し, 標記装置としての可能性を検討。

(4) 線形システム解析を利用した Stochastic Petri Nets (SPN) の分割解析手法

園松 敦, 山本 欣, 天野英晴(慶大)

〔概要〕アーキテクチャ・システム解析モデルである SPN の線形システム解析を利用した分割解析手法の提案。
 (5) メモリ・コンシステンシ・モデル —フレームワーク化および新モデルの提案—

徳永尚哉, 村上和彰 (九大)

〔概要〕共有メモリ・モデルにおけるコンシステンシ・モデルのフレームワークを示し, 新しいモデルを提案する。
 (6) 分散メモリ型並列計算機の自動並列化コンパイラ —Inspector/Executor Loop の高速化—

窪田昌史, 大野和彦, 三吉郁夫, 森眞一郎, 中島 浩, 富田眞治 (京大)

〔概要〕インデックス参照などの不規則なアクセスを高速化するコンパイル技法を提案する。

12月4日(木)

—9:00~12:00—

(7) 筆順に基づく漢字の構造知識を用いる超並列向き手書き漢字認識方式 村上仁利, 高橋義造 (徳島大)

〔概要〕全ての漢字の構造知識を個別のプロセッサにもたせ, 入力文字パターンの構造と並列に照合する。

(8) 並列計算機のプログラムのデバッグのためのハードウェアサポート

山本淳二, 寺沢卓也, 天野英晴 (慶大)

〔概要〕並列計算機のプログラムをデバッグする際に最低限必要なハードウェアサポートについて検討, 提案する。
 (9) セミ・マルコフを用いた「ASURA」クラスタのモデル化

城 和貴, 内藤 潤 (クボタ)

〔概要〕分散共有メモリ型マルチプロセッサ「ASURA」のクラスタをセミ・マルコフ・モデルを用いてモデル化。
 (10) 「ASURA」クラスタの性能評価

内藤 潤, 城 和貴, 松野宏昭, 新田博之 (クボタ)

〔概要〕分散共有メモリ型マルチプロセッサ「ASURA」のクラスタをシミュレーションおよび実測値で性能評価。

(11) 船橋の定理のニューラルネットワークへの応用

柿崎淳一, 秋葉巴也 (弘前大)

〔概要〕船橋の定理を実際にニューラルネットワークで表現したときの誤差とユニット数の関係を理論的に示す。

—13:00~16:00—

(12) 超並列計算機における各種ソートアルゴリズムの実装と評価 岡田英明, 喜連川優, 高木幹雄 (東大)

〔概要〕超並列計算機マスパ, コネクションマシンへのソートアルゴリズムの実装とその詳細な評価について。

(13) 『熱視線』: 視線探索法を高速処理する専用並列レンダリング・マシン —メモリ構成およびその評価—

村田誠治, 権 五鳳, 村上和彰 (九大), 富田眞治 (京大)

〔概要〕隠面消去処理に見られる参照の局所性を利用したメモリの構成とその評価について述べる。

(14) FMPP によるレイトレーシングの高速化手法について

山田哲也, 安浦寛人 (九大)

〔概要〕FMPP の応用として CG の画像生成手法であるレイトレーシングアルゴリズムを取り扱う。

(15) ボリューム・レンダリング向き並列計算機のアーキテクチャ

明石英也, 北須賀輝明, 薄田昌宏, 森眞一郎, 中島 浩, 富田眞治 (京大)

〔概要〕半透明なボリュームの表示をリアルタイムで行うボリュームレンダリング専用計算機の構想。

(16) 超並列計算機のための相互結合網シミュレータの開発

柴村英智, 久我守弘, 末吉敏則 (九工大)

〔概要〕ネットワーク記述言語を用いてさまざまな相互結合網の性能・特性を調査するシミュレータを開発した。

*IEEE Computer Society Tokyo Chapter 協賛

◆ 第57回 オペレーティング・システム研究会

(発表件数: 5件)

(主査: 鈴木則久, 幹事: 清水 康, 清水謙多郎, 萩野達也)

日 時 平成4年12月4日(金) 11:00~16:30

会 場 機械振興会館 6階 65号室

〔東京都港区芝公園 3-5-8, 地下鉄: 日比谷線神谷町, 浅草線大門, 三田線御成門下車, または JR: 浜松町下車, バス: 渋谷—東京タワー線東京タワー, 渋谷—東京駅八重洲口線虎の門5丁目下車. Tel. 03 (3434) 8211〕

議 題

—11:00~11:50—

(1) OS デバッグ環境の設計と実現

清水正明, 早川栄一, 並木美太郎, 高橋延匡 (農工大)

〔概要〕ワークステーションの仮想計算機環境における OS のデバッグ機能, 手法について述べる。

—13:00~16:30—

(2) プログラム間データ通信方式の検討

米澤保雄 (愛知技術短大)

〔概要〕データの送受信の送信データ構造の定義および受信データ変換の定義を基礎とする通信方式の検討。

(3) 処理コストに基づくページ置換方式

数藤義明, 宮本 剛, 岩本信一, 柴山茂樹 (キャンノン)

〔概要〕分散システムにおけるページ置換の処理コストを考慮した置換方式を提案する。

(4) DTP システムの設計とそのフォント管理システムの実現

笹川重和, 門奈 敦, 早川栄一, 並木美太郎, 高橋延匡 (農工大)

〔概要〕ネットワークにおけるフォントの共有機能を備えた DTP 用の描画システムの作成について述べる。

- (5) マルチメディアオブジェクトモデルとその実現 坂上秀和, 濱川 礼, 暦本純一 (日電)
 [概要] マルチメディアを複合した作品を柔軟に構成するために伸縮属性を導入したモデルについて述べる。

◆ 第44回 数値解析研究会

(発表件数: 5件)

(主査: 福井義成, 幹事: 土谷 隆, 長嶋雲兵, 吉原郁夫)

日 時 平成4年12月4日(金) 13:00~17:00

会 場 お茶の水女子大学 人間文化研究科棟 6階 大会議室

(東京都文京区大塚 2-1-1, 地下鉄(丸ノ内線): 茗荷谷下車, 徒歩10分. Tel. 03 (3943) 3151)

議 題

- (1) 流れ場計算でのセルオートマトンの実用化 岩崎容誠 (計算流体力学研究所)
 [概要] 適用可能なレイノルズ数範囲を明らかにし, 複雑な境界を持つ流れ解析での有効性を示す。
 (2) 分子科学計算におけるワークステーションと並列計算機の可能性 長嶋雲兵 (お茶の水女子大)
 [概要] 非線形方程式を解くプログラムを例に取り, 最近のワークステーションの性能を調査する。
 (3) 象限三角関数 浜田穂積 (電通大)
 [概要] 三角関数, 指数・対数関数等無理数の周期(に準ずるものも含む)の区間還元を高精度に行う。
 (4) 数値微分の補外法の収束判定について 福井義成 (東芝)
 [概要] 数値微分に補外法を適用した場合の収束判定について述べる。
 (5) 切欠きのある場に対するペナルティ法適用の注意について 村田健郎 (神奈川大)
 [概要] 標記手法は便利な反面, ICCG 法使用の場合, 反復回数が増す。その程度について述べる。

◆ 第89回 ソフトウェア工学研究会

(発表件数: 24件)

(主査: 原田賢一, 幹事: 宇都宮公訓, 大槻 繁, 大蒔和仁)

日 時 平成4年12月14日(月) 10:00~18:00

15日(火) 9:30~18:40

16日(水) 9:30~15:25

会 場 電子技術総合研究所 研究本館 D棟 8階 大会議室

(つくば市梅園 1-1-4, JR(常盤線): 荒川沖(東口)下車, 関東鉄道バス(筑波大学中央行き): 並木2丁目下車, 徒歩5分, または東京駅八重洲南口より常盤高速バス(つくばセンター行き): 並木大橋下車, 徒歩10分. Tel. 0298 (54) 5478 (大蒔))

議 題 特集: 仕様記述

発表時間を通常の研究会より長めにとり, 関連研究の発表を数件まとめた後に, 質疑も含めてその関連話題に密着した内容で, パネルの形式ではなく, 1時間弱の討論を全員で行います。

12月14日(月)

—10:00~10:20—

- 研究会開催にあたって

原田賢一(慶大), 大蒔和仁(電総研), 伊藤 潔(上智大)

—10:20~12:00—

- セッションA: Zによる仕様化

司会: 伊藤 潔(上智大)

- (1) Zを用いたプロトコルの仕様記述

菅原一伸, 高橋 薫, 野口正一(東北大)

栗田陽子, 安藤敏彦, 加藤 靖(仙台電波高専)

[概要] アブラカダブラプロトコルをZを用いて仕様記述した結果と評価について。

- (2) Z言語によるソフトウェアの仕様開発

柴山武彦, 内記美絵(日立中部ソフトウェア), 篠木祐二, 大槻 繁(日立)

[概要] 形式的仕様記述言語Z言語による仕様記述を行い, 実ソフトウェアの機能仕様を開発した結果について。

—13:00~15:25—

- セッションB: 仕様・プログラム生成

司会: 杵嶋修三(山武ハネウェル)

- (3) 並行システムの仕様のモデル表現とその設計・生成への応用

間野暢興(電総研)

[概要] 時区間表現を含むモデル表現, そのシステム設計への知識活用, 仕様からのプログラム生成。

- (4) オブジェクト指向代数仕様からのC++プログラム生成 山本純一, 大須賀昭彦, 本位田真一(東芝)

[概要] 代数仕様からのC++プロトタイプ生成について, 実システムへの適用事例をもとにして。

- (5) 時制論理を用いた並列性を含むLOTOS仕様の導出

安藤敏彦, 加藤 靖(仙台電波高専), 高橋 薫, 野口正一(東北大)

[概要] 並列なプロセス構造を持つLOTOS仕様の導出のための方法論。

—15: 35~18: 00—

●セッションC: 仕様化プロセス

司会: 後藤浩一 (鉄道総研)

- (6) OOA とリアルタイム SA の変更容易性に対する考察 山城明宏, 中野裕子, 本位田真一 (東芝)
〔概要〕 OOA と RSA の適用結果の比較に基づき変更容易性の観点から高品質分析モデルの開発指針の提案。
- (7) 対話型ソフトウェアの動的な部品間接続の方式について 佐藤 豊, 大時和仁 (電総研)
〔概要〕 ソフトウェアモジュール間の動的な接続, 分離, 協調を支援する記述法とバス型の接続機構について。
- (8) 仕様記述プロセスと支援ツールに関する一考察 松浦佐江子, 中西はるみ (管理工学研究所)
〔概要〕 形式的仕様記述支援ツールの開発経験に基づき, そのプロセスを踏まえた支援ツールのあり方を考察。

12月15日(火)

—9: 30~11: 55—

●セッションD: 性能評価とリアクティブシステム

司会: 大時和仁 (電総研)

- (9) 共有ストアをもつ待ち行列ネットワーク型性能仕様モデルの定性的改善 澤 高根, 伊藤 潔 (上智大)
〔概要〕 複数のタスクやサーバ間で共有ストアをもつ待ち行列ネットワークの定性改善法。
- (10) 待ち行列ネットワーク型性能仕様モデルの定性改善プランの定量評価
中須晶子, 廣井和重, 金野孝頭, 伊藤 潔 (上智大)
〔概要〕 定性推論によって求めた待ち行列ネットワークの改善プランの改善度合いの定量評価。
- (11) リアクティブシステム開発向き分析・設計環境: Asdreas
杵嶋修三 (山武ハネウエル), 伊藤 潔 (上智大)
〔概要〕 プラントの計測・制御・監視を目的とするリアクティブシステムの要求分析と設計支援。

—13: 00~16: 00—

●セッションE: リアルタイムシステムの実際

司会: 大槻 繁 (日立)

- (12) リアルタイム制御用ソフト設計製作支援システム 加藤博一, 中北輝雄 (新日鐵)
〔概要〕 マルチベンダー下の異機種に対してもソフトの可搬性を確保し, ホストの開発システムで一貫支援する。
- (13) 状態空間モデルを背景とした制御仕様の視覚的獲得方式
浪岡保男, 笹氣光一, 伊藤 聡, 中山康子, 水谷博之 (東芝)
〔概要〕 目標状態を視覚的に指示すると状態空間モデルを用いたプランニングにより制御仕様を生成する構想。
- (14) PC (Programmable Controller) の電機分野における仕様記述と中間言語
紙本博史, 乳井直樹 (富士電機)
〔概要〕 PC の電機分野における仕様と, 中間言語方式のプログラミング言語の現状。
- (15) 三菱統合一元化 SE システム 小島 透, 渡部徹雄, 干潟寛昭 (三菱電機)
〔概要〕 工業プラント向 PLC 対応の CASE ツールであり仕様定義からオブジェクト生成までの一貫システム。

—16: 15~18: 40—

●セッションF: 通信システムの仕様化—1

司会: 藤田朋生 (日電), 伊藤光恭 (NTT)

- (16) CCR プロトコルの LOTOS 記述 —ISO での活動も含めて—
藤田朋生 (日電), 内山光一 (東芝), 奥村 薫 (日本IBM), 前田 誠 (日立)
板橋吉徳 (松下電器), 辻 宏郷 (三菱電機), 大時和仁 (電総研)
〔概要〕 OSI の通信規約の一つ CCR の LOTOS 記述の内容を, ISO での活動を含めて紹介する。
- (17) 形式的仕様記述言語 LOTOS の記述スタイルについて 内藤 晋, 佐伯元司 (東工大)
〔概要〕 形式的仕様記述言語 LOTOS を用いて, 一つの問題を種々のスタイルで記述し, 評価する。
- (18) SDL vs. LOTOS —SDL 記述の立場から—
安藤津芳, 太田正孝 (高度通信システム研究所), 高橋 薫 (東北大)
〔概要〕 仕様記述言語 SDL と LOTOS の比較を, SDL 記述の立場から, 機能の詳細まで行いまとめる。

12月16日(水)

—9: 30~11: 55—

●セッションG: 通信システムの仕様化—2

司会: 本位田真一 (東芝)

- (19) G-LOTOS を用いた仕様記述試験
更科克幸, 安藤津芳, 太田正孝 (高度通信システム研究所), 高橋 薫 (東北大)
〔概要〕 形式仕様記述言語 G-LOTOS による仕様の詳細化過程について述べる。
- (20) リフレクション機構を持った仕様記述言語 RLOTOS とその応用 広井 武, 佐伯元司 (東工大)
〔概要〕 LOTOS にリフレクションの概念を導入した RLOTOS の概要とそれを用いた仕様記述を示す。
- (21) A Verification Method for Service Script of the Intelligent Network
伊藤光恭, 堀 正弘, 福永勇二, 永石 勉 (NTT)
〔概要〕 IN におけるサービスロジックが伝導網を制御する部分に着目した検証方式の提案と実装。

●セッションH: モデリング

司会: 佐伯元司 (東工大)

(22) 概念データモデルと従属性制約を用いた言語による仕様再利用の実験

横田和久, 橋本正明, 佐藤正和 (ATR)

〔概要〕 実際のシステムを対象に, 仕様記述言語 PSDL を用いて仕様再利用によるプログラム作成を実験した。

(23) 実世界モデルにもとづく言語 NAIVE —その論理体系—

日野克重 (富士通)

〔概要〕 実態, 行為, および主体などの基本概念からなる実世界モデルを自然に表現する総合的論理系の提案。

(24) 実世界モデルにもとづく言語 NAIVE —設計思想, 言語仕様, 記述性, 効果—

日野克重 (富士通)

〔概要〕 言語 NAIVE の設計思想, 言語仕様, 記述例を示し, ソフトウェア開発に及ぼす効果について議論。

*懇親会: 12月15日(火)の夕方より予定しています。

*計測自動制御学会(離散事象システム研究会), 電気学会(金属産業技術委員会鉄鋼プロセス制御ソフトウェアのCAE調査専門委員会)協賛

◆ 第60回 グラフィクスとCAD研究会

(予定発表件数: 24件)

(主査: 西原清一, 幹事: 宇野 栄, 大野義夫, 間瀬健二)

日 時 平成4年12月17日(木) 10:30~17:00

18日(金) 9:00~16:30

会 場 常盤工業会館

〔宇部市東梶返 1-10-8, JR: 小郡下車, JR(宇部線)または市営バス(白鳥号): 宇部新川下車(約50分), 市営バス風呂ヶ池行き(琴芝経由または参宮通り経由): 工学部前下車, 徒歩2分, 山口宇部空港よりは車で約7分. Tel. 0836(32)7599〕

議 題 特集: 画像の認識と生成および一般

12月17日(木)

●グラフィクス

(1) 仮想服飾環境 PARTY —型紙と人体形状からの格子形成法— 坂口嘉之, 美濃尊彦, 池田克夫(京大)

(2) 双3次 Bézier パッチの4分木データ構造を用いた分割 森山真光, 原田耕一(広島大)

(3) マルチプロセッサ向き画像生成ユニット —Scanline Z-Buffer Merger—

小林忠司, 若山順彦, 前田 潔, 西村明夫, 西澤貞次, 鷺島敬之(松下電器)

(4) 画像生成装置 MAGG のための並列双方向視線探索法

寺西忠勝, 河合利幸, 小沢一雅(大阪電通大), 楢木順一, 大西啓修(三菱プレジジョン)

(5) 空間分割による並列視線探索法の画像生成装置 MAGG への実装

竹安俊幸, 河合利幸(大阪電通大), 楢木順一, 大西啓修(三菱プレジジョン)

(6) マーチングキューブ法の改善アルゴリズムについて

石井智海(花王), 安田孝美, 横井茂樹, 鳥脇純一郎(名大)

(7) 見学: 山口大学知能情報システム工学科研究室を予定。

12月18日(金)

●パターン認識

(プログラム未定)

*今回の研究会は電子情報通信学会(パターン認識・理解研究会)との共催で開催されます。上記会告は10月8日現在の申込みによるもので上期以降の申込み分を含めた最終的なプログラムは電子情報通信学会誌11月号に掲載されますのでご了承ください。

◆ 第18回 音楽情報科学研究グループ

(発表件数: 3件)

(主査: 平田圭二, 幹事: 鈴木 孝, 増井誠生, 志村 哲)

日 時 平成4年12月12日(土) 13:30~17:00

会 場 東京大学 生産技術研究所 第3部 輪講室

〔東京都港区六本木 7-22-1, 地下鉄(日比谷線): 六本木下車, 徒歩5分. Tel. 03(3402)6231〕

議 題

(1) ピアノ演奏における曲の構造とテンポ, 強弱の関連調査 野池賢二(農工大)

(2) 伝統音楽の情報処理におけるタブラチュアの利用 坪井邦明(浜松職業訓練短大)

(3) "ICMC '92" 参加報告 平田圭二(ICOT), 橋本周司(早大)

問合せ先 鈴木 孝(東京高専 情報工学科) Tel. 0426(68)5061 e-mail: suzuki@tokyo-ct.ac.jp

*研究会終了後, 懇親会を行いますので奮ってご参加ください。

◆ 音声言語情報処理と音声入出力装置研究グループ

第3回 研究会 「音声入出力機器の動作環境に関するシンポジウム」講演および参加募集案内

- 日時 平成5年1月22日(金)～23日(土)
 会場 文部省共済施設 箱根「静雲荘」
 議題 音声入出力機器を取り巻く動作環境, ヒューマンインタフェースとしてのあり方など。
 必ずしもこれにとらわれることなく, 音声対話の処理技術, マルチモーダル対話の問題などのほか, 新しい要素技術に関する発表を広く受け付けます。胞芽的な研究の発表を特に歓迎します。
 申込方法 本研究会は合宿形式で行います。講演, または参加ご希望の方は下記まで e-mail または FAX でご連絡ください。

発表申込締切 平成4年12月15日(火) (原稿締切: 12月28日(月), 参加申込締切: 平成5年1月10日(日))
 問合せ先 小林 豊 (京都工芸繊維大) Tel. 075 (724) 7473 FAX 075 (724) 7400 e-mail: koba@dj.kit.ac.jp
 *電子情報通信学会(音声認識の実用化をめざす新手法時限研究専門委員会) 共催

 本会協賛等の行事案内*

- 第13回 全日本マイクロマウス大会
 平成4年11月21日(土)～23日(月) 東京・科学技術館
- 第49回 産業用ロボット利用技術講習会
 平成4年12月3日(木)～4日(金) 東京・(社)日本電機工業会
 平成4年12月10日(木)～11日(金) 大阪社会福祉指導センター
- システム制御情報イーブンングスクールチュートリアル講座
 平成4年12月8日(火), 10日(木), 15日(火), 17日(木), 22日(火) 大阪マーチャングイズマートビル
- 第193回 講習会「今, 時代を切り開くヒューマン・インターフェース・テクノロジー」
 平成4年12月11日(金) 東京・中央大学
- 講習会「テレビジョン画像の評価技術」
 平成4年12月24日(木)～25日(金) 東京・機械振興会館
- 第7回「大学と科学」公開シンポジウム
 平成5年1月8日(金)～9日(土) 東京・経団連ホール
- 第42回 システム制御情報講習会
 平成5年1月21日(木)～22日(金) 大阪・三田出版会
 平成5年2月4日(木)～5日(金) 東京・ダイヤモンド社
- 第20回 人工知能セミナー
 平成5年1月28日(木) 名古屋・日本ユニシス
- '93新素材展
 平成5年5月18日(火)～21日(金) 千葉・幕張メッセ
- 第9回 ファジイシステムシンポジウム
 平成5年5月19日(水)～21日(金) 北海道大学
- 平成5年電気学会産業応用部門全国大会
 平成5年8月25日(水)～27日(金) 東京電機大学

* 詳細は本号会議案内欄参照

平成4年度研究賞の表彰

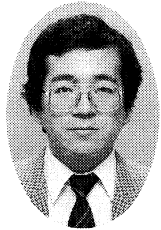
研究賞は、本学会の研究会および研究会主催シンポジウムにおける研究発表のうちから特に優秀な論文を選び、その発表者に贈られるものです。受賞者は該当論文の登壇発表者である本学会の会員で、年齢制限はありません。

この賞は研究会活動活性化の施策に基づき、昭和62年度から新設され、本年度は去る10月12日に徳島大学で開催された第45回全国大会の席上、会長から表彰状、賞牌、賞金が下記の11君に授与されました。

本賞の選考は、表彰規程、研究賞受賞候補者選定手続および研究賞推薦内規に基づき、調査研究運営委員会（委員長榎本肇）が選定委員会となって行います。今年度は表彰対象の10研究会（21研究会を奇数歴年度組と偶数歴年度組に分け、本年度は後者、来年度は前者の隔年表彰）の主査から推薦された計11編の優れた論文に対し、慎重な審議を行い、受賞候補者として推薦のうえ、第366回理事会（平成4年6月）の承認を得て決定されたものです。

● マルチメディア情報環境 —「電子美術館」の経験から—

[90-DBS-77 (1990.5.17)]



加藤 俊一君（正会員）

1957年生。1980年京都大学工学部情報工学科卒業。1985年同大学院工学研究科博士課程学修退学。同年同研究生。1986年より通産省電子技術総合研究所勤務。現在、同所知能システム部対話システム研究室主任

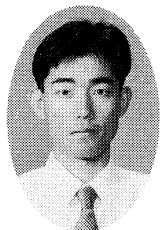
研究官。1992年3月より、英国 University College London 客員研究員。工博。画像認識・理解とその並列処理、マルチメディアデータベース、ヒューマンインタフェース等の研究に従事。最近は、感性情報処理にも興味を持つ。電子情報通信学会、人工知能学会、認知科学会、視聴覚情報研究会各会員。

〔推薦理由〕

本論文は、ユーザが描くスケッチ図をキーとする内容検索や画像に対するユーザの主観的印象を表わす言葉をキーとする検索ができる画像データベースシステム ART MUSEUM の全像を述べている。このような検索方法は従来少なからず提案されてきたが、具体的なシステム構築を通じてその有効性を実証した点が大いに評価できる。本システムの構築にあたり、既存の画像処理技術とデータベース技術の融合がうまく図られており、今後の新しいデータベース応用のためのシステム構築技術の発展に大いに寄与すると考えられ、研究賞に値する。

● 履歴データ型を用いたバージョン管理機構の設計と実装

[92-DBS-87 (1992.3.16)]



田中 肇君（正会員）

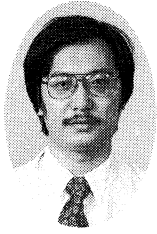
昭和42年生。平成2年筑波大学第三学群情報学類卒業。平成4年同大学院理工学研究科修士課程修了。現在、(株)電通に勤務。

〔推薦理由〕

本論文は、データの版の導出関係と各版の生成・削除時刻等の時間情報の統合的な管理方法とデータ操作方法について述べたものである。特に、抽象データ型と非正規関係を導入して版の生成関連を明快にモデル化したこと、及び時間と導出関係を組合せたデータ操作のための拡張関係代数（TV代数）を提案したことに新規性が認められる。さらに、TV代数に基づき実際にデータベース言語 TV-Quel を拡張関係型 DBMS 上で実現し、その有効性を実証している。以上から、本論文は研究賞に値する。

● Tachyon Common Lisp の実現方式

(92-SYM-64 (1992.3.16))



五味 弘君 (正会員)

1960年生。1983年三重大学工学部電子工学科卒業。1985年同大学院工学研究科電子工学専攻修士課程修了。同年より(株)沖テクノシステムズラボラトリに入社。現在、同社研

究部第2研究室に勤務。Lisp 処理系などプログラム言語の開発に従事。

〔推薦理由〕

本研究は Tachyon Common Lisp 処理系の実現と性能評価を行ったものである。「Cより速い Tachyon」すなわち「光よりも速いタキオン」という名を冠した意気込みが、実際の性能に現われており、発表時点で世界最高レベルの速度性能をもつ Common Lisp が実現できた。現時点で考えられる最適化手法をくまなく取り入れることによって達成された高速性と、それと両立するように配慮された高い移植性は、Lisp 処理系実装技術の“state of the art”と呼ぶに相応しい。

● 情報処理教育のための図形表示機能の実現

(91-MIC-65 (1991.2.1))



岡田 稔君 (正会員)

昭和 59 年名古屋工業大学工学部電気工学科卒業。平成元年名古屋大学大学院工学研究科博士後期課程(情報工学専攻)満了。昭和 63・平成元年度日本学術振興会特別研究員。平成 2 年名古屋大学情報処理教育

センター助手、現在に至る。この間、デジタル画像処理、計算幾何学、コンピュータ・グラフィックスとその医学応用に関する研究に従事。工博。電子情報通信学会、日本 ME 学会各会員。

〔推薦理由〕

本論文では、多人数を対象とした一般情報処理教育のための図形表示システムの、構成方法と実現について述べられている。本システムは、汎用大型計算機、ワークステーション、パーソナルコンピュータの混在した分散型教育環境において、低コスト、簡便でありかつ汎用的に使用できるという点から、実用的な図形教育が可能であり、さらに現用に供されている点からも高く評価できるものである。

● 無指向的オペレーティングシステム XERO の設計

(コンピュータ・システム・シンポジウム (1991.3.26))



加藤 和彦君 (正会員)

昭和 37 年生。昭和 60 年筑波大学第三学群情報学類卒業。昭和 63 年同大学院博士課程工学研究科中退。同年東京大学理学系研究科博士課程入学。平成元年より東京大学理学部情報科学科助手。理学博士。オペ

レーティング・システム、データベースシステム、プログラミング言語などシステム・ソフトウェア全般に興味をもつ。

〔推薦理由〕

重要性を増しつつある分散処理の場において、OS の 1 つの目標である仮想化を徹底的に進めようとする試みであり、ユニークな多くの概念、実現法を提案し、実証した。

分散処理システムの基本問題を整理し、無指向という概念を提示したこと、無指向の実現に対し、時空間、アーキテクチャの差異を埋めるため、仮想化を押し進めた設計を行った。

● Boolean Relation からの多段論理回路の合成

(DA シンポジウム '91 (1991.8.31))



藤田 昌宏君 (正会員)

1956 年生。1980 年東京大学工学部電気工学科卒業。1982年東京大学工学系研究科情報工学専門課程修士課程修了。1985年同博士課程修了。工学博士。同年より、(株)富士通研究所に勤務。ハードウェアの論理設

計支援、特に論理合成および論理検証システムの研究・開発に従事。IEEE 会員。

〔推薦理由〕

階層設計や順序回路では、入力と許される出力値の組で表現する Boolean Relation の形で論理仕様が表現される。従来、Boolean Relation から多段論理回路を合成する手法はなく、仕様で許されるドントケアを完全に利用できなかった。本発表では、Boolean Relation を表わす回路を付け加えて多段論理回路を最適化することで、Boolean Relation を利用した多段論理回路最適化が行えることを示し、実験結果により、その有効性を示している。論理合成研究の今後の方向の1つを示しており、実用上も極めて重要な研究であり、研究賞に推薦する。

● 音声合成における音声強調インタフェースの設計法

(92-HI-41 (1992.3.3))



浜田 洋君 (正会員)

1955 年生。1978 年電気通信大学電気通信学部通信工学科卒業。1980年同大学院通信工学専攻修士課程修了。同年日本電信電話公社(現 NTT)入社。以来、横須賀電気通信研究所にて音声認識、音声合成の研

究実用化に従事。現在、NTT ヒューマンインタフェース研究所マルチメディア処理研究部主幹研究員。ヒューマンファクタの研究に従事。電子情報通信学会、日本音響学会、IEEE 各会員。

〔推薦理由〕

この研究は、音声規則合成におけるキーワード強調の強さを、グラフィックインタフェースを用いて制御する方法を提案し、音量や発話速度などの複数の音声合成パラメータを専門家でなくとも容易に設定できることを実験により検証するとともに、心理的な強さと音声合成パラメータの対応関係を明確にしたものである。言語、音声、画像の複数メディアを効果的に組み合わせる設計方法のコンセプトと、その有効性を実験により定量的に示したことは、今後のヒューマンインタフェースの大きな方向を示唆する研究として、研究賞に真にふさわしい。

● IEEE 準基本数学関数パッケージ

(91-NA-38 (1991.10.19))



二宮 市三君 (正会員)

1921 年生。1943 年東京大学工学部航空学科卒業。1945年より名古屋大学工学部に勤務。1970年教授。工学博士。1985年定年退職。現在中部大学経営情報学部教授。ブル代数、数値解析、数値計算ソフトウェア

の研究に従事。名古屋大学大型計算機センターにおいて協力者と共に数学ライブラリ・NUMPAC を構築し、全国 50 余の主要計算施設に配布公開した。日本応用数理学会正会員。

〔推薦理由〕

基本数学関数についての一連の研究により、通常の処理系が備えているもの問題点を抽出し、その改訂版の開発・提供を行った。さらに必要性の高い関数の提案、開発を提供し、数値計算の効率化に大きく寄与している。本発表も含め発表者の永年取り組んできた研究成果であり、その集大成である。実用的であるという点でもこれ以上の成果は他にない。また、言語仕様に関する数値計算分野からの提言という面ももっている。本発表も含め長年の「啓蒙活動」も評価に値する。

● 経営活動における情報システムの評価事例

(90-IS-31 (1990.10.16))



初瀬川 茂君 (正会員)

1949年生。1972年慶應義塾大学工学部管理工学科卒業。1974年同大学院修士課程修了。同年(株)東芝入社。1981年より85年まで東芝英国社に外向。現在、(株)東芝映像メディア事業本部情報システム担当とし

て、社内情報システム推進に従事。共著書「情報システムの企画と設計」(オーム社)、共訳書「SISの構築技法」(オーム社)、「情報システム・ハンドブック」(培風館)の人事記録システムを執筆。

〔推薦理由〕

自社の海外法人における情報システムの監査事例を基に、情報システムの評価についてまとめた論文である。情報システムの役割と業務との関わり方、評価項目の抽出方法、評価の視点と評価ポイントについて、主要な項目を具体的に分類整理して体系化し、経営活動における情報システムの評価という取り扱い難い課題に対し、ひとつの解を示している。また、本論文は論文誌にも採録された。(Vol. 32, No. 12, 1991)

● EFSの学習可能性と膜蛋白領域予測への応用

(91-FI-23 (1991.9.10))



篠原 歩君 (正会員)

1965年生。1988年九州大学理学部数学科卒業。1990年同大学院総合理工学研究科情報システム学専攻修士課程修了。同年より九州大学理学部附属基礎情報学研究施設助手、現

在に至る。計算論的学習理論、ゲノム情報処理に興味を持つ。人工知能学会会員。

〔推薦理由〕

本研究は、EFS (Elementary Formal System) という文字列上の一種の論理プログラムを対象にして展開した学習理論に基づく学習アルゴリズムを提案し、それを蛋白質データからの知識獲得に応用し、その有効性を実証したものである。特に PIR データベースを使ったアミノ酸配列中の膜貫通領域を同定する実験では、この学習システムにより、正データの90%以上をカバーし負データの80%以上を排除するという十分な精度をもった仮説の発見に成功している。これは、機械学習におけるEFSの有用性を実際の領域で示したことになる。

● ヒッチコック輸送問題の新算法

(91-AL-23 (1991.9.19))



徳山 豪君 (正会員)

1957年生。1979年東京大学理学部数学科卒業。1985年東京大学理学系大学院数学専攻課程修了。理学博士。1986年より日本アイ・ビー・エム東京基礎研究所勤務。主任研究員。現在 IBM T.J. Watson 研究

所出向中。アルゴリズム理論、離散数学、計画法等に興味を持ち、特に計算幾何学を中心に研究を行う。ACM、日本数学会、応用数理学会各会員。

〔推薦理由〕

本研究は、ネットワークの最も基本的な問題の一つであるヒッチコック輸送問題に対して、従来の解法と全く異なる手法を用いた解法を与えている。この問題を計算幾何学の枠組で定式化できることを示し、これを解くための計算幾何学の新しい手法を開発して効率を改善させた。提案された手法は幅広い応用性を有する点も注目値する。このように、本研究はアルゴリズム研究の総合的な観点からみて極めて優れたものであり、研究賞に値する。

「アドバンスト・データベースシステム・シンポジウムおよび併設講習会」 開催について

「アドバンスト・データベースシステム・シンポジウム講習会」 ——オブジェクト指向データベース関連技術の最新動向——

標記講習会を下記のとおり開催いたします。「オブジェクト指向データベース関連技術の最新動向」と題して、今後のデータベース技術に関連の深いトピックスのうちからエージェント指向、オブジェクト指向分析設計法 OMT、マルチメディア符合化の標準化について、この分野においてご活躍中の3名の講師の方々に解説をしていただきます。参加者数に制限がありますのでお早めにお申し込みください。

日 時 平成4年12月7日(月) 10:00~17:15
場 所 工学院大学 312 教室 (新宿区西新宿)
 *場所が変更になりましたのでご注意ください。
参加費 会員 10,000 円, 学生会員 2,000 円, 一般 15,000 円
 (講習会とシンポジウムの両方に参加される場合には割引価格が認定されています。参加申込書をご覧ください。)
主 催 情報処理学会データベースシステム研究会
申込締切 平成4年11月20日(金)

~~~~~ プ ロ グ ラ ム ~~~~~

- 10:00~12:00
「オブジェクト指向からエージェント指向へ」 大沢 英一 (ソニー)
- 13:00~15:00
「オブジェクト指向方法論 OMT について」 羽生田栄一 (富士ゼロックス情報システム)
- 15:15~17:15
「マルチメディア符号化の国際標準と最新動向」 安田 浩 (NTT)

「アドバンスト・データベースシステム・シンポジウム」 ——21 世紀をにらんでオブジェクト指向 DBMS の今後を展望する——

標記シンポジウムを開催いたします。今回はオブジェクト指向 DBMS の現状を総括し今後を展望するという観点から、OODB の機能拡張、応用システムの構築と評価、マルチメディアと OODB、ユーザインタフェースなどに関するトピックが中心です。また、オブジェクト指向 COBOL や OODB による遺伝子 DB の構築に関する招待講演も予定されています。奮ってご参加くださいますようお願い申し上げます。参加者数に制限がありますのでお早めにお申し込みください。

日 時 平成4年12月8日(火) 9:00~17:00, 9日(水) 9:10~17:20
場 所 工学院大学 312 教室 (新宿区西新宿)
 *場所が変更になりましたのでご注意ください。
参加費 会員 15,000 円, 学生会員 3,000 円, 一般 20,000 円
 (講習会とシンポジウムの両方に参加される場合には割引価格が設定されています。参加申込書をご覧ください。)
主 催 情報処理学会データベースシステム研究会
申込締切 平成4年11月20日(金)

~~~~~ プ ロ グ ラ ム ~~~~~

12月8日(火)

開会挨拶 (9:00~9:10)

増永 良文 (情報大)

基調講演 (9:10~10:40)

司会 増永 良文 (情報大)

- DBMS 利用の歴史と今後

石井 義興 (ソフトウェア・エージー)

セッション 1 (10:55~12:15) ビジュアルオブジェクト

座長 三浦 孝夫 (産能大)

- オブジェクト指向データベースを用いたグラフィカルユーザインタフェースシステムについて

加藤 和彦, 萩谷 昌己, 千葉 茂, 綾塚 裕二, 益田 隆司 (東大)

- 画像の被写体を対象とするファジイ論的検索技法

中谷 浩人 (名工大), 吉根 勝美, 磯本 征雄 (名古屋市大), 石井 直宏 (名工大)

先端技術最新動向レビュー 1 (13:15~14:45)

司会 横田 一正 (ICOT)

- 遺伝子データベースの現状と研究開発動向

高木 利久 (東大)

セッション 2 (15:00~17:00) オブジェクトモデル

座長 田中 克己 (神戸大)

- Sarah: An Object-Oriented Database System Capturing Multiple Meanings

石丸 知之, 植村 俊亮 (農工大)

- セマンティック ID によるメッセージパッシング方式の提案

市川なおみ, 龍 忠光 (富士通研), 戸島 哲夫 (富士通ネットワークエンジニアリング)

- 製品仕様データベースにおける操作に基づく検索機能

角谷 和俊, 安武 剛一, 眞田 紀男, 春名 修介, 今井 良彦 (松下電器)

12月9日(水)

セッション 3 (9:10~10:30) システム実装・評価

座長 北川 博之 (筑波大)

- Odin データベースのアーキテクチャと言語

木村 裕, 鶴岡 邦敏, 波内 みさ (日電)

- OODB を利用した CAE データ管理システムの構築と評価

小林 裕三 (東芝 CAE システムズ), 谷内田 仁 (東芝)

特別招待講演 (10:45~12:15)

司会 牧之内顕文 (九大)

- オブジェクト指向 COBOL の全貌

Dan Clarke (Micro Focus)

セッション 4 (13:30~15:30) プログラミング言語・論理

座長 大堀 淳 (沖電気)

- 永続プログラミング言語 INADA のマルチタイプオブジェクト

有次 正義, 天野 浩文, 牧之内顕文 (九大)

- オブジェクト指向データベースプログラミング言語 DOTPL における知識更新と世界機構

塚本 昌彦 (シャープ), 西尾章治郎, 劉 江 (阪大)

- Skolem 関数による関数変数の意味付け

塩谷 勇 (産能大)

先端技術最新動向レビュー 2 (15:45~17:15)

司会 鶴岡 邦敏 (日電)

- 異機種分散環境とオブジェクト指向

大野 邦夫 (NTT)

—CORBA (Common Object Request Broker Architecture) の概要と今後の展望—

閉会挨拶 (17:15~17:20)

増永 良文 (情報大)

「アドバンスト・データベースシステム・シンポジウムおよび併設講習会」

参加申込書

平成 年 月 日

標記シンポジウム／併設講習会の参加を下記によって申し込みます。

○参加費（該当するものを○でかこむ）

- (1) アドバンスト・データベースシステム・シンポジウムおよび併設講習会に参加
正会員, 賛助会員 20,000 円 学生会員 4,000 円 非会員 28,000 円
- (2) アドバンスト・データベースシステム・シンポジウムのみ参加
正会員, 賛助会員 15,000 円 学生会員 3,000 円 非会員 20,000 円
- (3) 併設講習会のみ参加
正会員, 賛助会員 10,000 円, 学生会員 2,000 円 非会員 15,000 円

*参加費には, 論文集代(本シンポジウム), 資料代(併設講習会)が含まれています。

○シンポジウム論文集のみ (6,000 円, 送料込み) _____冊

○併設講習会資料のみ (3,000 円, 送料込み) _____冊

○送金方法

- * _____円を a) 当日, 会場受付にて支払います。
b) _____月 _____日送金します。

* (b を選択した方のみご記入ください。)

b-1) 現金書留 (送金先 160 東京都新宿区西新宿 1-24-1 エステック情報ビル 27 F
(社)情報処理学会シンポジウム係 Tel. 03 (5322) 3535)

b-2) 銀行振込 (いずれも普通預金口座)

第一勧銀新宿西口支店 2049562

三菱銀行虎ノ門公務部 0000608

名義人: 東京都新宿区西新宿 1-24-1 社団法人 情報処理学会

・送金先銀行名 _____銀行宛

・送金取扱銀行名 _____銀行 _____支店より

・送金人名義 _____様

*請求書類の必要な方はお申し出ください。

請求書 通, 見積書 通, 納品書 通

請求先 _____

注) 申込書は 1 枚 1 人としてください。(コピーで申し込むこと)

(楷書でハッキリ記入してください)

申込者
連絡先 〒 _____

機関・
部課名 _____

フリガナ
氏名 _____

殿

Tel. _____ (ex. _____) FAX _____

「学会誌特集セミナー：ソフトウェアマネジメント」開催について

ソフトウェアマネジメントは、開発対象としてのソフトウェアの技術はもとより、生産技術、プロジェクトに関する技術、品質管理、原価管理、工程管理などの管理技術、人間要素に関する科学技術などにまたがった、学際的な技術分野である。すなわち、ソフトウェア工学、経営工学、行動科学など多様な科学技術分野からのアプローチが必要である。このような学際領域の分野の紹介は、情報処理技術としての新分野の開拓に加え、実務者への有益な情報提供として非常に有益であると考えられる。

本セミナーは、ソフトウェアマネジメントの課題の内から、特に最近大きな関心を集めているソフトウェアライフサイクルプロセスの管理、品質管理、ソフトウェアメトリクス等に重点を置いて、その基本と実際をわかりやすく解説する。講師には、情報処理学会学会誌の特集「ソフトウェアマネジメント」の執筆者を迎え、学会誌では紙面の都合で触れられなかった点や、その後の国際会議等の最近動向を加えて解説記事のポイントを分かりやすく説明していただく。ソフトウェアマネジメントに従事されている多くの技術者、管理者が本セミナーに参加されるようお勧めいたします。

日 時 平成4年12月18日(金) 10時～17時
場 所 日本ユニシス本社 29階大会議室(江東区豊洲 1-1-1)
参加費 会員 15,000円, 非会員 20,000円, 学生 5,000円
 (資料として学会誌「情報処理」8月号をご持参ください。)
 学会誌をお持ちでない方には、1,600円でお頒けします。
申込締切 平成4年11月24日(火)

(定員100名になり次第締め切らせていただきます。)

~~~~~ プ ロ グ ラ ム ~~~~~

開会のあいさつ (9:50~10:00)	東 基衛 (早大)
ソフトウェアマネジメント概説 (10:00~11:30)	東 基衛 (早大), 細谷 僚一 (NTT)
ソフトウェアの品質管理と品質保証 (11:30~12:30)	飯塚 悦功 (東大)
—— 昼 食 (12:30~13:40) ——	
ソフトウェアのライフサイクル管理 (13:40~14:40)	村上 憲稔 (富士通)
—— 休 憩 (14:40~15:00) ——	
ソフトウェアの品質定量評価とテスト管理 (15:00~16:00)	東 基衛 (早大), 保田 勝通 (日立)
ソフトウェアの構成管理と保守管理 (16:00~17:00)	松尾谷 徹 (日電)

~~~~~

「学会誌特集セミナー：ソフトウェアマネジメント」

参加申込書

平成4年 月 日

標記セミナーの参加を下記によって申し込みます。

○参加費（該当するものを○でかこむ）

会員 15,000 円, 非会員 20,000 円, 学生 5,000 円

○送金方法（該当するものを○でかこむ）

合計 \_\_\_\_\_ 円を

a) 当日, 会場受付にて支払います。

b) 現金書留で \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日送金します。

c) 銀行振込（いずれも普通預金口座）で

第一勧業銀行新宿西口支店 2049562

三菱銀行虎ノ門公務部 0000608

名義人 東京都新宿区西新宿 1-24-1 社団法人 情報処理学会

・送金人名義 \_\_\_\_\_ 様

\* 請求書類の必要な方はお申し出ください。

請求書 通, 見積書 通, 納品書 通

請求先 \_\_\_\_\_

注) 申込書は1枚1人としてください。(コピーで申し込むこと)

○申込先・送金先 (FAX も可)

情報処理学会 セミナ係 160 東京都新宿区西新宿 1-24-1 エステック情報ビル 27F

Tel. 03 (5322) 3535 FAX 03 (5322) 3534

(楷書でハッキリ記入してください)

申込者  
連絡先 〒 \_\_\_\_\_

機関・  
部課名 \_\_\_\_\_

フリガナ

氏名 \_\_\_\_\_

殿

Tel. \_\_\_\_\_ (ex. \_\_\_\_\_) FAX \_\_\_\_\_

会誌



## 「第34回 プログラミング・シンポジウム」開催のお知らせ

標記シンポジウムを下記の要領で開催いたしますので、多数の方々のご参加をお願いいたします。参加ご希望の方は、期日までに所要事項を申込書に記入のうえ、お申し込みください。本シンポジウムの趣旨から、「情報処理分野で多くの経験のある方、また、これに強い関心を持ち積極的に勉強されている若い新鮮な方で、特にシンポジウムにおいて有益な形で討議に参加しようという意欲のある」多数の方々のご参加を希望します。

### 記

- 日 時** 1993年1月12日(火) 午前11時 受付開始(この日の昼食は用意しません)  
午後1時 開会  
14日(木) 正午 閉会
- 場 所** 箱根ホテル小涌園(神奈川県足柄下郡箱根町二の平1297) Tel. 0460(2)4111
- 交 通** 路線バス: 小田原駅表口<登山バス>箱根町行~小涌園前 約40分  
箱根湯本駅~小涌園前 約30分  
タクシー: 小田原駅表口~小涌園前 約30分  
箱根湯本駅~小涌園前 約20分
- 参 加 費** (予稿集代、宿泊費、食費を含む。カッコ内は非会員参加費)  
☆一般 38,000円(43,000円)  
☆大学院学生 27,000円(32,000円)  
※二つ以上の身分をお持ちの場合は、高い方の会費を適用させていただきます。

**申込締切** 1992年11月30日(月)

- 注) 1. 参加申し込み後やむをえず参加を取り消される場合は12月16日(水)までにお願ひします。取り消しの連絡の無い場合は、準備の都合上、参加費を徴収させていただきます。事情による代理の参加は認めず。  
2. 会場、宿泊施設の都合で、お申し込みに応じかねる場合がありますので、あらかじめご了承ください。  
3. 同一所属からの参加者数は適宜にご調整ください。  
4. 開催期間中の中途での出入りや、人員の交替はご遠慮ください。

### ~~~~~ プ ロ グ ラ ム ~~~~~

#### 第1日 1月12日(火)

**開会の辞** (13:00~13:15)

**セッション1** (13:15~15:15)

- 今更、しかし今こそ、きれいな電子メール環境を目指して 座長 来住 伸子(津田塾大)  
高橋 俊成(東芝)
- 時系列データのカオス的性質解析ツール 田中 広明, 斎藤 靖, 鎌田 富久(アクセス)
- 発想支援手書き環境の硬い技術と柔かい技術 中川 正樹(農工大)

—— 休 憩 (15:15~15:35) ——

**セッション2** (15:35~17:35)

- プログラミング言語教育におけるグループ演習支援ツール 座長 佐渡 一広(群馬大)  
久東 義典, 藤中 恵(常磐短大)
- 機械語プログラミング教育の報告と実習用コンピュータの製作について 中西 正和, 田中 二郎, 前田 敦司, 國吉 芳夫, 石井 政幸(慶大)
- 計算機実習を効果的に行うためのモニターシステムの試み 鈴木 悦子, 小川 貴英(津田塾大)

**報 告** (17:35~18:00)

- 若手の会、夏のシンポジウム、GPCC、山内賞の報告

—— 夕 食 (18:00~19:00) ——

#### 自由討論

#### 第2日 1月13日(水)

**セッション3** (9:00~10:20)

- 記号処理手法による数値シミュレーションコード開発支援システム 座長 久保田光一(中央大)  
川田 重夫, 飯島 邦彦, プンミー・チュンボル, 真鍋 保彦(長岡技科大)

●OS デバッグ環境の考察と OS デバッグ用ハイパ OS の実現

清水 正明, 早川 栄一, 並木美太郎, 高橋 延匡 (農工大)

—休憩 (10:20~10:40)—

セッション 4 (10:40~12:00)

- テキスト処理のみによる簡易卓上印刷
- UNIX マシンの計算能力と価格性能比

座長 小川 貴英 (津田塾大)  
 浜田 穂積 (電通大)  
 藤村 直美 (九州芸工大)

—昼食 (12:00~13:00)—

招待講演 (13:00~14:10)

- 「これからの列車運転制御システム」

座長 和田 英一  
 佐々木敏明 (鉄道総研)

—休憩 (14:10~14:25)—

セッション 5 (14:25~15:45)

- GLP と並行計算
- 一二の並行プロセスの検証問題について

水谷 哲也, 五十嵐 滋, 小宮山弘樹, 辻 尚史 (筑波大)

座長 太田 昌孝 (東工大)  
 渡辺 慎哉 (北大)

—休憩 (15:45~16:00)—

セッション 6 (16:00~18:00)

- 対称指向プログラム言語の提案
- マイクロ Plan の近代的な実現法  
 —μPlan '93 (15年ぶりの帰ってきたマイクロ Plan)—
- 実世界モデルにもとづく言語 NAIVE

座長 高岡 詠子 (慶大)  
 小谷 善行 (農工大)

多田 好克 (電通大)  
 日野 克重 (富士通)

—夕食 (18:00~19:00)—

自由討論

第3日 1月14日 (木)

セッション 7 (9:00~10:20)

- 詰将棋を速く解く2つのプログラム
- 立体形状の比較法に関する考察

座長 松原 仁 (電総研)  
 野下 浩平 (電通大), 伊藤 琢巳 (NTT)  
 向井 伸治 (前橋市工業短大), 古川 進, 小尾 誠 (山梨大)

—休憩 (10:20~10:40)—

セッション 8 (10:40~12:00)

- 一般化論理プログラムからみた項書換え系
- ライブラリ内アルゴリズム選択による最適化

座長 岩崎 英哉 (東大)  
 繁田 良則 (北大)  
 須崎 有康, 田沼 均, 平野 聡 (電総研)

閉会の辞 (12:00~12:10)

米田委員長

※自由討論, ポスターセッション, マイコン・ビデオデモ等を予定しています。参加ご希望の方はご用意ください。

※一般講演は発表25分, 討論15分を予定しています。なお, 日程については若干の変更があるかもしれません。



## 「第34回 プログラミング・シンポジウム」

## 参加申込書

1992年 月 日

1. 参加区分
- |        |                          |                          |            |
|--------|--------------------------|--------------------------|------------|
|        | 会 員                      | 非会員                      | 会員番号 _____ |
| ☆一般    | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |            |
| ☆大学院学生 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |            |

※参加区分は、該当の□の中に✓を入れてください。さらに情報処理学会会員の方は、会員番号もご記入ください。

2. 送金・支払い方法

a) 当日持参します。

b) ¥ \_\_\_\_\_ 也を次の方法で送金します。(送金日 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日)

b-1) 現金書留    b-2) 郵便振替 (東京 5-83484)    b-3) 銀行振込 ( \_\_\_\_\_ 銀行宛)

銀行振込口座番号 (いずれも普通預金)

第一勧銀新宿西口支店 2049562    三菱銀行虎ノ門公務部 0000608

名義人：社団法人 情報処理学会

請求書類の必要な方はお申し出ください。

請求書 \_\_\_\_\_ 通, 見積書 \_\_\_\_\_ 通, 納品書 \_\_\_\_\_ 通

請求先名義 \_\_\_\_\_

3. 次の各項目は部屋割の資料として使います。

◇年齢は \_\_\_\_\_ 歳・内緒    男・女

◇宿泊室は    喫煙室希望・禁煙室希望

◇そのほか特に希望があればご記入ください。(必ずその通りにすると約束はできません.)

4. 次の各項目はシンポジウム運営の参考にします。

◇夜の自由討論の希望テーマ \_\_\_\_\_

◇マイコン・ビデオデモなどの展示, 発表希望 \_\_\_\_\_

5. 申し込み先 (下記まで郵送か FAX で送付のこと)

情報処理学会「プログラミング・シンポジウム」係

160 東京都新宿区西新宿 1-24-1 エステック情報ビル 27 階

Tel. 03 (5322) 3535 FAX 03 (5322) 3534

申込者  
連絡先

〒 \_\_\_\_\_

機関・  
部課名

フリガナ  
氏名

殿 \_\_\_\_\_

Tel. \_\_\_\_\_ (ex. \_\_\_\_\_) FAX \_\_\_\_\_

E-mail \_\_\_\_\_ (公開可能な方のみ記入ください)

## 「1993 情報学シンポジウム」開催について

——オブジェクト指向と利用者インタフェース—その有効性を検証する——

- 日 時** 1993年1月13日(水)~14日(木) 9:20~17:00
- 場 所** 日本学術会議講堂(地下鉄千代田線, 乃木坂駅下車)
- 共同主催** (予定)日本学術会議 情報学研究連絡委員会  
 学術文献情報研究連絡委員会  
 学術データ情報研究連絡委員会  
 情報工学研究連絡委員会  
 情報処理学会, 人工知能学会, 日本医学会, 日本化学会, 日本数学会, 日本地理学会, 日本物理学会, 情報知能学会, 日本生物物理学会
- 後 援** (予定) 学術情報センター, 計測自動制御学会, 国際電信電話, 情報科学技術協会, 情報通信学会, 電子情報通信学会, 日本医療情報学会, 日本科学技術情報センター, 日本機械学会, 日本金属学会, 日本原子力学会, 日本材料科学会, 日本材料学会, 日本生化学会, 日本電信電話, 日本動物学会, 日本農学会, 日本分子生物学会, 日本分析化学会, 日本薬学会, 化学情報協会, ICOT
- 申込締切** 12月18日(金) 当日受付もあるが, 資料不足の際は事前登録者を優先する。
- 申 込 先** 情報処理学会 情報学シンポジウム係  
 160 東京都新宿区西新宿 1-24-1 エステック情報ビル 27F  
 Tel. 03 (5322) 3535 FAX 03 (5322) 3534
- 参 加 費** (資料代として): 共催学協会員 5,000円, 学生 1,500円, 一般 7,000円

### ~~~~~ プ ロ グ ラ ム ~~~~~

#### 第1日 1月13日(水)

**組織委員長挨拶** オブジェクト技術への期待 (9:20~9:30)  
 尾関 雅則(日本学術会議情報学研究連絡委員会委員長)

**セッション1** (特別講演): オブジェクト技術の現状と将来 (9:30~10:40)

座長 細野 公男(慶大)

Outstanding Issues in Object Database Management and New applications Using GemStone  
 Jacob Stein (Servio Co.)

— 休 憩 (10:40~10:50) —

**セッション2** DB 構築 (10:50~12:20) 座長 菅原 秀明(理化学研)  
 オブジェクト指向生体情報 DB の設計: 機能オブジェクトと構造相関

米沢 保雄(愛知技術短大)

タンパク質3次構造データのオブジェクト指向データベースの試作

片野 宏一, 中西 通雄, 伊藤 実, 橋本 昭洋(阪大)

ゲノム情報解析のための演繹オブジェクト指向データベース

五斗 進, 坂本 憲広(九大), 高木 利久(東大)

世代マップ: 情報の構造表現

池田 一夫, 倉品 周介(都立衛生研究所)

— 昼 食 (12:20~13:20) —

**セッション3** (招待講演1) ODBMS 開発/言語・利用者インタフェース (13:20~14:40)

座長 石塚 英弘(情報大)

UniSQL の開発

加藤 哲朗(NTT データ通信)

オブジェクト指向言語における利用者インタフェースの構築法

松岡 聡(東大)

— 休 憩 (14:40~14:50) —

**セッション4** グラフィカル利用者インタフェースの開発と適用 (14:50~15:50) 座長 千村 浩靖(日電)  
 IntelligentPad の適用性に関する事例研究 島瀬 浩(王子製紙), 田中 譲(北大)

ハイパーメディアにおけるリンクの機能拡張と機能合成  
協調作業のための共有空間の実現

葛西 裕明, 田中 謙 (北大)  
長崎 祥, 田中 謙 (北大)

— 休憩 (15:50~16:00) —

**セッション 5** 利用者インタフェースの構築 (16:00~17:00)

座長 田中 和明 (日立)

オブジェクト指向設計を支援するハイパー処理機能の提案

村川 雅彦, 龍 忠光, 戸島 哲夫, 足立 武史 (富士通研)

分散環境のためのユーザインタフェースメタファとその実現

佐藤 究, 野口 正一, 布川 博士 (東北大)

高機能ネットワーク管理 API の一検討

森 隆彦, 後藤真一郎 (NTT)

**懇親会** (会費 3,000 円) はあといん乃木坂 (健保会館) (17:30~19:30)

**第 2 日 1 月 14 日 (木)**

**セッション 6** (招待講演 2) ソフトウェア開発/ソフトウェア分析・設計 (9:20~10:40)

座長 藤原 謙 (筑波大)

OMG (Object Management Group) におけるオブジェクト指向技術

佐藤 広行 (キャノン)

ソフトウェア分析/設計におけるオブジェクト指向技術

中谷多哉子 (富士ゼロックス情報システム)

— 休憩 (10:40~10:50) —

**セッション 7** 開発支援システムの構築 (10:50~11:50)

座長 中川 優 (NTT)

オブジェクト指向開発の協調支援システムへの分析と設計

碓崎 賢一, ベセモンテネグロ マヌエルヘスス (九大)

命令型制約文法とソフトウェアオブジェクト間の制約記述

富永 和人, 徳田 雄洋 (東工大)

画像ファイリングシステムへの OMT の適用

吉田 和樹, 山城 明宏, 芥藤 悦生 (東芝)

— 昼食 (11:50~12:40) —

**セッション 8** (招待講演 3) ODBMS 開発/アプリケーション開発 (12:40~14:00)

座長 有川 節夫 (九大)

Obase オブジェクトモデルと OODB の利用者インタフェース

田中 克己 (神戸大)

Application Development Using Object-Oriented Technologies

Danny B. Lange (東大)

— 休憩 (14:00~14:10) —

**セッション 9** 従来方式と比較したオブジェクト技術の有用性と提言 (14:10~15:10)

座長 岩野 和生 (日本 IBM)

実践的オブジェクト指向技術の適用例

松浦 博司 (横河電機)

次世代計測システム・ソフトウェアの信頼度向上のためのオブジェクト指向技術の適用

山口 隆弘, 今井 聡 (アドバンテスト)

Givargis A. Danialy (Advansoft Research Co.)

ソフトウェアとしての利用性を指向した新しいオブジェクト・モデル: S-O-R モデル

片山 佳則, 小林 要 (富士通研)

— 休憩 (15:10~15:20) —

**セッション 10** (パネル討論) オブジェクト技術の有効性を議論する (15:20~16:50)

座長 尹 博道 (富士通)

議題とパネリスト

ソフトウェア開発環境

佐藤 広行 (キャノン)

ソフトウェア分析/設計

中谷多哉子 (富士ゼロックス情報システム)

プログラミング言語/利用者インタフェース

松岡 聡 (東大)

ODBMS

田中 克己 (神戸大)

Jacob Stein (Servio)

アプリケーション開発

Danny Lange (東大)

**総括** オブジェクト技術の将来性 (16:50~17:00) 尹 博道 (情報学シンポジウム '93 実行委員長, 富士通)

「1993 情報学」シンポジウム

参加申込書

平成 4 年 月 日

標記シンポジウムの参加を下記によって申し込みます。

○資料代 (該当するものを○でかこむ)

共催学協会員 5,000円 一般 7,000円 学生会員 1,500円

○懇親会費 (3,000円) \_\_\_\_\_名

○資料のみ (上記資料代) \_\_\_\_\_冊

○送金方法

- \* \_\_\_\_\_円を a) 当日, 会場受付にて支払います。
- b) \_\_\_\_\_月 \_\_\_\_\_日送金します。

\* (b を選択した方のみご記入ください)

b-1) 現金書留 (送金先 160 東京都新宿区西新宿 1-24-1 エステック情報ビル 27 F  
(社)情報処理学会 シンポジウム係 Tel. 03 (5322) 3535

b-2) 銀行振込 (いずれも普通預金口座)

第一勧銀新宿西口支店 2049562 三菱銀行虎ノ門公務部 0000608

名義人 東京都新宿区西新宿 1-24-1 社団法人 情報処理学会

- ・送金先銀行名 \_\_\_\_\_ 銀行宛
- ・送金取扱銀行名 \_\_\_\_\_ 銀行 \_\_\_\_\_ 支店より
- ・送金人名義 \_\_\_\_\_ 様

\* 請求書類の必要な方はお申し出ください。

請求書 通, 見積書 通, 納品書 通

請求先 \_\_\_\_\_

注) 申込書は1枚1人としてください。(コピーで申し込むこと)

(楷書でハッキリ記入してください)

申込者  
連絡先 〒 \_\_\_\_\_

機関・  
部課名 \_\_\_\_\_

フリガナ  
氏名 \_\_\_\_\_

殿 \_\_\_\_\_

Tel. \_\_\_\_\_ (ex. \_\_\_\_\_) FAX \_\_\_\_\_

E-mail : \_\_\_\_\_

## 「自然言語処理シンポジウム」開催について

計算機ハードウェアの進歩にともない、大規模なデータを利用する処理も十分に可能となってきた。これにともない、大規模な言語データが今後の自然言語処理研究、応用において重要になるとの認識から、多くの言語データが整備、公開されつつある。さらにはこれを背景に、高度なハードウェア、多量のデータを前提とする新たな研究の流れが生じている。本シンポジウムはこのような動向に焦点をあて、積極的討論を行うべく企画されたものである。

日時 1993年1月28日(木) 10:00~17:50  
29日(金) 10:00~17:30

場所 ICOT アネックス会議室  
108 東京都港区三田 1-4-28 三田国際ビルアネックス  
(交通) JR 山手線田町駅下車、徒歩15分、都営三田線芝公園駅下車、徒歩10分

参加費 正会員(賛助会員含む) 18,000円  
学生会員 4,000円  
非会員 23,000円  
(論文集のみ4,000円)

申込締切 平成5年1月11日(月)

申込み先 160 東京都新宿区西新宿 1-24-1 エステック情報ビル27階  
(社)情報処理学会 シンポジウム係  
Tel. 03 (5322) 3535 FAX 03 (5322) 3534

問合せ先 820 飯塚市大字川津 680-4  
九州工業大学情報工学科知能情報工学教室 永井 秀利  
Tel. 0948 (29) 7633 FAX 0948 (29) 7601  
e-mail :nagai@ai.kyutech.ac.jp

### ~~~~~プログラム~~~~~

第1日 1月28日(木)

開会挨拶 (10:00~10:20)

・シンポジウム開催に当たって

野村 浩郷(九工大)

セッション1 (10:20~11:50)

・超並列言語処理

苫米地英人(徳島大)

セッション2 (13:00~17:50)

・曖昧性解消問題

長尾 確(ソニー CSL)

・文解析における確率の利用

永井 秀利(九工大)

・マルチメディアによる対話

竹林 洋一(東芝)

第2日 1月29日(金)

セッション3 (10:00~12:00)

・言語データの現状(コーパス, 辞書, シソーラス)

末松 博(電総研)

・TEIの思想と現状

土屋 俊(千葉大)

セッション4 (13:00~14:00)

・ヨーロッパの辞書活動

田中 康仁(愛知淑徳大)

パネル討論 (14:15~17:30)

・テーマ「言語データ — 製作者の視点, 利用者の視点 —」

司会 天野 真家(東芝)

・パネリスト 製作者側: 石井 正彦(国研), 村木 一至(電総研), 橋本三奈子(IPA)

利用者側: 松本 裕治(京大), 鶴丸 弘昭(長崎大), 中村 順一(九工大)

「自然言語処理シンポジウム」

参加申込書

平成4年 月 日

標記シンポジウムの参加を下記によって申し込みます。

○参加費 (該当するものを○でかこむ)

会員 18,000 円, 学生 4,000 円, 非会員 23,000 円

\*参加費には、資料代が含まれています。

○論文集のみ (4,000円, 送料込) \_\_\_\_\_冊

○送金方法 (該当するものを○でかこむ)

合計 \_\_\_\_\_円を

a) 当日、会場受付にて支払います。

b) 現金書留で \_\_\_\_\_月 \_\_\_\_\_日送金します。

c) 銀行振込 (いずれも普通預金口座) で

1. 第一勧銀新宿西口支店 2049562

2. 三菱銀行虎ノ門公務部 0000608

名義人 東京都新宿区西新宿 1-24-1 社団法人 情報処理学会

送金人名義 \_\_\_\_\_様

\*請求書類の必要な方はお申し出ください。

請求書 通, 見積書 通, 納品書 通

請求先 \_\_\_\_\_

注) 申込書は1枚1人としてください。(コピーで申し込むこと)

○申込先・送金先 (FAX も可)

情報処理学会 シンポジウム係

160 東京都新宿区西新宿 1-24-1 エステック情報ビル 27 F

Tel. 03 (5322) 3535 FAX 03 (5322) 3534

(楷書でハッキリ記入してください)

申込者  
連絡先

T

機関・  
部課名

フリガナ

氏名

殿

Tel. \_\_\_\_\_ (ex. \_\_\_\_\_) FAX \_\_\_\_\_



## 第7回「大学と科学」公開シンポジウム

## 「国際化する日本語—話し言葉の科学と音声教育—」プログラム

期 日 平成5年1月8日(金)～9日(土)  
 会 場 経団連ホール(東京都千代田区大手町1-9-4 Tel. 03(3279)1411)  
 参加費 無 料  
 問合せ先 102 東京都千代田区富士見2-3-1 信幸ビル クバプロ内  
 第7回「大学と科学」公開シンポジウム「国際化する日本語」事務局  
 Tel. 03(3238)1689 FAX 03(3238)1837

## 1月8日(金)

A. 挨拶(9:50～10:00)

第7回「大学と科学」公開シンポジウム組織委員会  
 文 部 省

B. 総合特別講演(10:00～10:55)

話し言葉の科学と音声教育

司会 野元 菊雄(前国立国語研)  
 杉藤美代子(大阪樟蔭女子大)

C. 方言音声の収集と研究(10:55～11:50)

方言音声の収集と研究の意義

司会 徳川 宗賢(阪大)  
 柴田 武(東大名誉教授)

D. 方言音声の研究(13:00～14:50)

1. 日本語の方言アクセントとイントネーション

司会 国広 哲弥(神奈川大)  
 上野 善道(東大)

2. 東北・出雲方言の源を探る—母音の音響的特徴について—

今石 元久(広島女子大)

E. パネル討論(15:05～17:00)

方言音声の収集と音声データベースの作成

司会 江川 清(国立国語研)  
 板橋 秀一(筑波大)

1. 音声データベースについて

加藤 正信(東北大), 佐藤 亮一(フェリス女学院大)

2. 音声の現状

真田 信治(阪大), 上村 幸雄(琉球大)

## 1月9日(土)

F. 音声の韻律的特徴の生理的, 音響的特徴(10:00～11:50)

1. アクセント, イントネーションの発話時の喉頭制御

司会 桐谷 滋(東大)  
 廣瀬 肇(東大)

2. イントネーションの生成モデルによる分析

藤崎 博也(東理大)

G. 放送音声の教育と日本語教育(13:00～14:50)

1. 放送音声の教育

司会 野地 潤家(鳴門教育大)  
 秋山 和平(NHK)

2. 日本語の音声教育の現状と展望

水谷 修(国立国語研)

H. パネル討論(15:05～17:00)

国際化する日本語の音声教育

司会 宮地 裕(帝塚山大)

1. 日本語学習者のイントネーション

鮎澤 孝子(国立国語研)

2. 日本語の音声教育

土岐 哲(阪大)

3. 日本人の最近のイントネーション

井上 史雄(東外大)

4. 日本語アクセントの学習

朱 春躍(北京外大)

5. 外国人の耳で聞いた日本語と方言音声

D. Long(大阪樟蔭女子大)

# 50% DISCOUNT AVAILABLE ON IFIP PUBLICATIONS FROM ELSEVIER / NORTH-HOLLAND

**Visual Database Systems, II**  
Proceedings of the IFIP TC2/WG2.6 Second Working Conference, Budapest, Hungary, 30 September - 3 October 1991  
*edited by E. Knuth and L.M. Wegner*  
1992 xii + 462 pages  
Paperback Price: Dfl. 215.00  
ISBN 0-444-89609-0

**Decision Support Systems: Experiences and Expectations**  
Proceedings of the IFIP TC8/WG 8.3 Working Conference, Fontainebleau, France, 30 June-3 July 1992  
*edited by T. Jelassi, M.R. Klein and W.M. Mayon-White*  
1992 viii + 324 pages  
Paperback Price: Dfl. 175.00  
ISBN 0-444-89673-2

**Theorem Provers in Circuit Design**  
Proceedings of the IFIP TC10/WG 10.2 International Conference on Theorem Provers in Circuit Design: Theory, Practice and Experience, Nijmegen, The Netherlands, 22-24 June 1992  
*edited by V. Stavridou, T.F. Melham and R.T. Boute*  
1992 xii + 360 pages  
Paperback Price: Dfl. 190.00  
ISBN 0-444-89686-4

**Programming Environments for Parallel Computing**  
Proceedings of the IFIP WG10.3 Workshop, Edinburgh, UK, 6-8 April 1992  
*edited by N. Topham, R. Ibbett and T. Bemmerl*  
1992 x + 244 pages  
Paperback Price: Dfl. 140.00  
ISBN 0-444-89764-X

**IT Security: The Need for International Cooperation**  
Proceedings of the IFIP TC11 Eighth International Conference on Information Security, IFIP/Sec'92, Singapore, 27-29 May 1992  
*edited by G.G. Gable and W.J. Caelli*  
1992 x + 496 pages  
Paperback Price: Dfl. 220.00  
ISBN 0-444-89699-6

**Human Aspects in Computer Integrated Manufacturing**  
Proceedings of the IFIP TC5/WG 5.3 Eighth International PROLAMAT Conference, Tokyo, Japan, 24-26 June 1992  
*edited by G.J. Olling and F. Kimura*  
1992 xvi + 916 pages  
Paperback Price: Dfl. 280.00  
ISBN 0-444-89465-9

**Information Network and Data Communication, IV**  
Proceedings of the IFIP TC6 International Conference, Espoo, Finland, 16-19 March 1992  
*edited by C. Tienari and D. Khakhar*  
1992 xii + 482 pages  
Paperback Price: Dfl. 220.00  
ISBN 0-444-89751-8

**Computer Applications in the Automation of Shipyard Operation and Ship Design, VII**  
Proceedings of the IFIP TC5/WG5.6 Seventh International Conference (ICCAS 91), Rio de Janeiro, Brazil, 10-13 September 1991  
*edited by C. Baraúna Vieira, P. Martins and C. Kuo*  
1992 x + 376 pages  
Paperback Price: Dfl. 195.00  
ISBN 0-444-89728-3

**Performance of Distributed Systems and Integrated Communication Networks**  
Proceedings of the IFIP WG 7.3 International Conference, Kyoto, Japan, 10-12 September 1991  
*edited by T. Hasegawa, H. Takagi and Y. Takahashi*  
1992 xii + 424 pages  
Paperback Price: Dfl. 205.00  
ISBN 0-444-89404-7

**INFORMATION PROCESSING 92**  
Proceedings of the IFIP 12th World Computer Congress, Madrid, Spain, 7-11 September 1992 (in 3 volumes)  
*edited by J. van Leeuwen, R. Alken and F. Vogt*  
Three-Volume Set:  
1992 xxx + 1738 pages Paperback  
Set price: Dfl. 495.00  
ISBN 0-444-89750-X

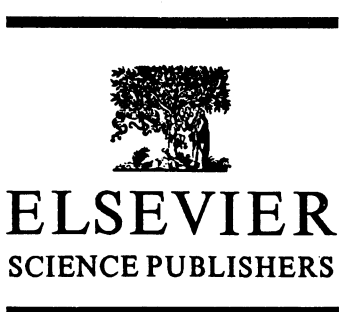
**Volume I: Algorithms, Software, Architecture**  
*edited by J. van Leeuwen*  
1992 xxx + 718 pages  
Paperback Price: Dfl. 260.00  
ISBN 0-444-89747-X

**Volume II: Education and Society**  
*edited by R.M. Alken*  
1992 xxx + 690 pages  
Paperback Price: Dfl. 260.00  
ISBN 0-444-89748-8

**Volume III: Personal Computers and Intelligent Systems**  
*edited by F.H. Vogt*  
1992 xxx + 330 pages  
Paperback Price: Dfl. 180.00  
ISBN 0-444-89749-6

**SPECIAL DISCOUNT ORDER FORM** Send this form, or a photocopy to:  
Elsevier Science Publishers, Attn: Petra van der Meer  
P.O. Box 103, 1000 AC Amsterdam, The Netherlands  
Yes, please send me the following book(s): (*prices shown above are full list prices*)

Payment enclosed (Bank Draft/Eurocheque/International Money Order/Postal Cheque)  
 Charge my credit card:  Access  Eurocard  MasterCard  American Express  VISA  
Card No.: \_\_\_\_\_ Valid until: \_\_\_\_\_  
Name \_\_\_\_\_  
Address \_\_\_\_\_  
Date \_\_\_\_\_ Signature \_\_\_\_\_



**CONDITIONS FOR THE 50% DISCOUNT ON PRICES SHOWN ABOVE**  
Bona-fide individual researchers who are members of IFIP member societies are entitled to purchase copies of IFIP Publications at 50% discount off the list price. No discounts are given if the book(s) ordered is not an IFIP computer science publication from North-Holland. Discounts are not applicable to orders from libraries, institutions, companies etc. Orders at these special discounts must be submitted using the special discount order form. In all cases the discounts refer to pre-paid orders from personal funds. No postage will be added to prepaid book orders. All prices are subject to change without prior notice.  
416-60/PSJ

## 論文誌特集号「画像の認識・理解シンポジウム MIRU '92」論文募集

## 論文誌編集委員会

画像の認識・理解シンポジウム (MIRU '92) は、情報処理学会コンピュータビジョン研究会と電子情報通信学会パターン認識・理解研究会の共催で、1992年7月16日から18日まで、札幌市の「かでる 27」において開催されました。2件の招待講演と115件の一般講演、および、7件の集中討論が行われ、予稿集は2分冊で900頁にのぼっています。また、参加者は250名を記録し、わが国におけるこの分野の研究者が一同に会する場となりました。

論文誌編集委員会では、上記シンポジウムの一般講演で行われた115件の研究発表を対象として、特集号の論文を募集することになりました。スケジュールは以下のとおりです。多くの著者の方々の積極的な投稿をお願いします。

なお、投稿された論文は、一般の投稿論文と全く同じ査読を経るものとしますが、一括掲載のためできるだけ迅速な査読が行われるよう努力します。

投稿論文の様式は、情報処理学会論文誌原稿執筆案内 (学会誌1992年9月号掲載) を参照してください。

投稿締切 1992年12月15日 (必着)

投稿論文には、『画像の認識・理解シンポジウム MIRU '92』特集と朱書してください。

特集号予定 1993年10月号

投稿論文送付先 160 東京都新宿区西新宿1丁目24番1号 エステック情報ビル27階  
(社)情報処理学会 論文誌編集委員会  
Tel. 03 (5322) 3535 FAX 03 (5322) 3534

## 「論文誌」への英文論文掲載と「欧文誌 “JIP”」の統合について

平成5年1月から、現在刊行中の「情報処理学会論文誌」の国際化をはかることを目指して、英文論文も掲載することとなりました。併せて、表紙デザインを一新するなど、新しい装いの「論文誌」を平成5年1月から購読者にお届けいたします。

これにより、当学会の機関誌は学会誌「情報処理」と「論文誌」の2本立てに集約され、昭和53年に刊行された「欧文誌 “Journal of INFORMATION PROCESSING (JIP)”」は本年の Vol. 15 をもって休刊となります。

上記により、英文論文は、季刊であった「欧文誌」掲載から、月刊の「論文誌」に採録順に早期に掲載されることとなりますので、英文論文の積極的な投稿を期待いたしております。

つきましては、英文論文の投稿者ならびに欧文誌の購読者の方々へ、次により変更内容をお知らせいたしますので、ご了承のほどお願い申し上げます。

## 1. 英文論文投稿者各位

(1) 既投稿者で9月末までに採録通知のあった論文は現行の欧文誌「JIP」に掲載いたします。

10月以降の採録決定論文につきましては平成5年1月以降の「論文誌」に掲載となります。

(2) 10月1日以降の新規投稿につきましては、9月号巻末掲載の機関誌原稿執筆案内「情報処理学会論文誌原稿執筆案内」によりご投稿ください。従来の欧文誌「JIP 原稿執筆案内」による投稿は受け付けません。

## 2. 欧文誌購読者各位

ながらくご愛読いただきありがとうございます。欧文誌「JIP」は昭和53年3月に産声をあげ、Vol. 1, No. 1を発行以来15年を経過しましたが、このたび論文誌に統合し、新たな「論文誌」としてスタートすることになりました。

つきましては、来年からも引き続き、新「論文誌」をご購読くださいますようお願いいたします。

## 論文誌のご購読について

論文誌「情報処理学会論文誌」(月刊)は下記のとおり、有料頒布となっております。また、来年1月発行の第34巻1号から英文論文も掲載され、表紙デザインも一新するなど新しい装いの論文誌となります。

9月号みどりのページでお知らせしたとおり、欧文誌「JIP」は本年の Vol. 15 をもって休刊となりますので、欧文誌の購読者はぜひ新論文誌を第34巻1号からご購読くださいますようお願いいたします。

新規に購読を希望される会員は下記の申込書(コピーにて可)にて、お申込みください。郵便振替口座番号、取扱銀行、送金先等は学会誌目次欄に記載してあります。

|       | 会 員     | 非 会 員   |
|-------|---------|---------|
| 年間購読料 | 4,500 円 | 7,800 円 |

平成 年 月 日

## 論文誌購読申込書

下記により購読を申込みます。(該当欄を○で囲む)

会員 No. \_\_\_\_\_

1. 氏 名 \_\_\_\_\_ 会員(正, 学生, 賛助)・非会員

連絡先 (〒 \_\_\_\_\_)

Tel. \_\_\_\_\_

送本先 (〒 \_\_\_\_\_)

注) 会員には学会誌の送付先に送本いたしますので、送本先の記入は不要です。

2. 購読希望(申込月の翌月以降の発行誌から送本します。送本希望欄は特に必要な場合のみ記入)

情報処理学会論文誌(\_\_\_\_巻\_\_\_\_号から送本希望)

3. 送金の方法

¥ \_\_\_\_\_ 也をつぎによって送金いたします。(送金月日\_\_\_\_月\_\_\_\_日)

a. 現金書留    b. 郵便振替    c. 銀行振込(\_\_\_\_銀行宛)

4. その他(学会事務局への連絡事項)

## 有 料 会 告 に つ い て

本会の共催行事および協賛・後援行事の次第書（論文募集，参加案内等）の会告欄掲載については，下記により有料で取扱いますのでお知らせします。なお，会議案内欄への掲載については従来どおり無料です。

また，教官募集欄の掲載は，平成4年4月号掲載分から，下記のとおり有料となりましたので，あわせてお知らせします。

### 記

#### 1. 掲 載 条 件

| 件 名    | 内 容                                          | 掲載単位           | 掲 載 料 金          |
|--------|----------------------------------------------|----------------|------------------|
| 行事次第書  | 国際会議，シンポジウム，講演会，講習会等の論文募集・参加案内に限る。           | 1 ページ          | (共 催)            |
|        |                                              |                | 1 ページ 50,000 円   |
|        |                                              | または<br>1/2 ページ | 1/2 ページ 30,000 円 |
|        |                                              |                | (協賛・後援)          |
| 教官募集   | 学校またはその附属機関，公益法人，官公庁およびその研究機関等の教職員・研究員募集に限る。 | 1/5 ページ        | 1 ページ 100,000 円  |
|        |                                              |                | 1/2 ページ 60,000 円 |
| 1 件当たり | 20,000 円                                     |                |                  |

#### 2. 申 込 方 法

B5判任意の用紙で，件名，申込者氏名，勤務先，職名，住所，電話番号および請求書宛先等を記載し，掲載希望原稿を添えて下記の申込先へお申込みください。

#### 3. 原 稿 の 書 き 方

行事次第書：原則としてB5判カメラレディとします。B5判以外の原稿は縮小または拡大となりますのでご注意ください。なお，原稿作成にあたり様式（字の大きさ，ゴシック等）については，本誌会告記載内容をご参照願います。

教職員募集：求人側の必要事項を明記してください。

なお，記事内容については本会は責任を負いません。

#### 4. 申 込 期 限

毎月15日を締切日とし翌月号（15日発行）に掲載します。

#### 5. 掲 載 料 金

掲載号発行後に料金を請求いたしますので，その翌月月末までにお支払ください。

#### 6. 掲 載 申 込 先

160 東京都新宿区西新宿 1-24-1 エステック情報ビル 27 階 (社)情報処理学会 有料会告係  
Tel. 03 (5322) 3535 FAX 03 (5322) 3534

## 平成4年度会費，論文誌・欧文誌購読費の納入について

本年度の会費および購読費未納の方には，11月中旬に郵便振替用紙を発送いたします。会費および購読費は前納を原則としており，すでに多くの方にはご納入いただいております。会費納入の督促は，手数や郵便料がかさみ大きな負担となっておりますので，まだ未納の方は早急にご納入くださいますようお願いいたします。

#### 〔自動振替納入利用の方へ〕

すでに個別にご連絡いたしました，去る7月27日の振替日に残高不足等で振替未済の方は，会員係にご連絡いただくとともに，早急に別途ご納入ください。

## 海外からの送金方法について

海外からの会費，論文誌購読費，各種行事参加費，各種図書購入費等については，円またはドルの銀行小切手により送金されていますが，次のような問題があります。

1. 銀行小切手作成の手間がかかる。
2. ドル送金の場合は為替相場の変動により，常に過不足を生じ，経理上支障がある。
3. 円またはドルに拘らず，1,500～2,500 円の換金手数料をとられる。

この点を改善するため，海外からは「VISA」「Master Card」「American Express」および「Diner's Club」により円立で送金できるようにしました。なお，申込書様式は次のとおりとしますが，A4 判用紙を用い必ず郵送してください (Fax は不可)。

If you wish to pay with your credit card, please fill in the following form and mail it back to the Information Processing Society of Japan.

To: INFORMATION PROCESSING SOCIETY OF JAPAN  
 STEC JOHO Bldg., 1-24-1 Nishi-Shinjuku, Shinjuku-ku  
 Tokyo 160, Japan  
 Phone: 81-3-5322-3535

I wish to pay with my credit card.

Circle one:      Master Card      VISA      American Express      Diner's Club

- (1) Card number \_\_\_\_\_
- (2) Expiry date \_\_\_\_\_ / \_\_\_\_\_
- (3) Full name of holder as it appears on the card \_\_\_\_\_
- (4) Amount \_\_\_\_\_ Japanese Yen
- (5) Details (annual fees, journal, etc.) \_\_\_\_\_  
 \_\_\_\_\_  
 \_\_\_\_\_
- (6) Mailing address

\_\_\_\_\_ (Country)

Phone \_\_\_\_\_

Fax \_\_\_\_\_

Date \_\_\_\_\_

Signature \_\_\_\_\_

Note: The fees can also be paid by cash or by bank draft. In the case of bank draft, please add the handling charge ¥ 1,500 to the total amount. We cannot accept personal check.

Remit to: Information Processing Society of Japan

Bank account no. 062-2049562

Shinjuku-Nishiguchi Branch, The DAI-ICHI-KANGYO BANK, LTD.

## 支 部 だ よ り

## 東海支部 講演会

日 時 平成4年11月17日(火) 13:10~14:40  
 場 所 鈴鹿工業高等専門学校 視聴覚教室(図書館1階)(鈴鹿市白子町)  
 演 題 文字認識技術の最近の動向 三宅 康二(三重大)  
 参加費 無料(参加資格は問いません)  
 問合せ先 480 名古屋市中区錦 2-17-21 NTT DATA 東銀ビル NTT データ通信(株)東海支社内  
 情報処理学会東海支部事務局 Tel. 052 (204) 4517

## 講演会

日 時 平成4年12月21日(月) 15:00~17:00  
 場 所 NTT データ通信(株)東海支社 研修・会議室  
 (名古屋市中区錦 2-17-21 NTT DATA 東銀ビル 3F)  
 演 題 マルチメディア時代に対応していく LAN の技術と課題 小斉平嘉博(NTT データ通信)  
 参加費 無料(参加資格は問いません)  
 問合せ先 480 名古屋市中区錦 2-17-21 NTT DATA 東銀ビル NTT データ通信(株)東海支社内  
 情報処理学会東海支部事務局 Tel. 052 (204) 4517 または 4597 (世話人 斎藤)

## 「画像メディア技術の最新動向」専門講習会

期 日 平成4年12月3日(木), 4日(金)  
 会 場 愛知県産業貿易館西館9F 第3会議室  
 (名古屋市中区丸の内 3-1-6 Tel. 052 (231) 6351)  
 地下鉄, 桜通線, 鶴舞線「丸の内」駅下車, 徒歩10分または名城線「市役所」駅下車, 徒歩10分  
 演 題 12月3日(木)  
 画像メディア技術の動向 10:00~11:30 鳥脇純一郎(名 大)  
 人工現実感と臨場感通信 13:00~14:30 岸野 文郎(A T R)  
 コンピュータビジョン 14:40~16:10 佐藤 幸男(名工大)  
 12月4日(金)  
 コンピュータグラフィックス 10:00~11:30 横井 茂樹(名 大)  
 マルチメディア・ハイパーメディア 13:00~14:30 笠原 裕(日 電)  
 画像メディアステーションとビジュアルインタフェース  
 14:40~16:10 田村 秀行(キャノン)

定 員 100名(定員になり次第締め切ります)

参加費 主催・共催会員(正会員, 賛助会員) 12,000円  
 主催・共催学生会員, 共催准員 5,000円  
 一般(会員以外) 20,000円  
 テキストのみ 3,000円(送料を含む, 発送は講習会終了後)

申込方法 はがきに①氏名, ②勤務先と所属, ③住所と電話番号, ④所属学会等の名称を記入しお申込みのうえ,  
 下記いずれかの方法で送金してください。入金確認次第, 参加証をお送りします。

なお, テキストは当日会場でお渡します。

(送金方法) 1. 銀行振込(申込みはがきに「銀行振込」と必ず明記してください)

銀 行 さくら銀行 名古屋支店

口座番号(普) 5589017

名 義 情報処理学会 東海支部

2. 現金書留(上記申込内容を適当な用紙に記入し, 同封してください)

申 込 先 480 名古屋市中区錦 2-17-21 NTT DATA 東銀ビル NTT データ通信(株)東海支社内  
 情報処理学会東海支部事務局 Tel. 052 (204) 4517 FAX 052 (204) 4521

**見学会**

- 日時** 平成4年11月26日(木) 8:50~19:00
- 見学先** 京都リサーチパーク(株)  
京都府中小企業総合センター  
京都市工業試験場  
(財)京都高速技術研究所  
(京都市下京区中堂寺南町17 Tel. 075 (322) 7800)
- 集合場所** JR 名古屋駅西口 (MEDIA ONE 前) に 8:50 までに集合 (時間厳守)
- 行程** 9:00 出発 (貸切バス)  
13:30~15:30 見学  
19:00(予定) JR 名古屋駅西口解散
- 参加資格** 情報処理学会東海支部会員に限る.
- 参加費** 1,000 円 (昼食代, 当日集めます.)
- 定員** 40 名 (先着順)
- 申込方法** 往復ハガキに「京都リサーチパーク見学会申込み」と記入し, ①会員番号, ②氏名, ③勤務先・所属 (役職), ④連絡先住所, ⑤電話番号を明記のうえ, 下記宛へ送付する.  
(折返し参加証を送りますので, 当日は参加証を持参のこと.)
- 申込締切** 11月16日(月) 必着
- 問合せ先** 480 名古屋市中区錦 2-17-21 NTT DATA 東銀ビル NTT データ通信(株)東海支社内  
情報処理学会東海支部事務局 Tel. 052 (204) 4517

**北陸支部 講演会**

- 日時** 平成4年12月7日(月) 13:30~15:00
- 場所** インテック大山研修所
- 演題** 情報システムと知的所有権 名和小太郎 (新潟大)
- 参加費** 無料 (参加資格は問いません)
- 問合せ先** 923-12 石川県能美郡辰口町旭台 15  
北陸先端科学技術大学院大学情報科学研究科内  
情報処理学会北陸支部事務局 Tel. 0761 (51) 1265 堀口 進

**研究講演会**

- 日時** 平成4年11月27日(金) 14:00~15:30
- 場所** 石川県トライアルセンター第2研修室 (石川県工業試験場 5F)  
(交通) バス JR 金沢駅西口 北鉄バス「工業試験場・産業振興センター」行 10分  
タクシー JR 金沢駅西口から約7分
- 演題** コンピュータグラフィックスと人工現実感 横井 茂樹 (名大)
- 問合せ先** 石川県工業試験場製品科学部 Tel. 0762 (67) 8084 中野 幸一

**研究講演会**

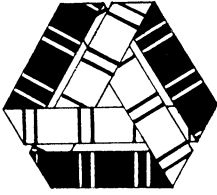
- 日時** 平成5年1月22日(金) 14:00~16:00
- 場所** NEC ソフトウェア北陸 2F ミーティングルーム 1-11  
(石川県石川郡鶴来町安養寺 1)
- 演題** マルチメディア分散処理とグループウェアの展望 坂田 史朗 (日電)
- 問合せ先** NEC ソフトウェア北陸 Tel. 07619 (3) 4617 堀口 勝夫

**見学会**

- 日時** 平成4年11月27日(金) 15:30~16:20
- 場所** 石川県工業試験場  
(交通) バス JR 金沢駅西口 北鉄バス「工業試験場・産業振興センター」行 10分  
タクシー JR 金沢駅西口から約7分
- 集合場所** 石川県トライアルセンター 第2研修室 (石川県工業試験場 5F)



## 会議案内



各会議末のコードは、整理番号です（\*：本年既掲載分，\*\*：昨年既掲載分）。会議の詳細を知りたい方は、学会事務局へ切手 72 円を同封のうえ、請求ください。（国内連絡先が記載されている場合は除く。）

1. 開催日, 2. 場所, 3. 連絡, 問合せ先, 4. その他

### 国際会議

#### 第 9 回 トロンプロジェクト国際シンポジウム (073)

- 1992 年 12 月 1 日 (火)～4 日 (金)
- TEPIA (東京都港区北青山)
- (社)トロン協会 Tel. 03 (3454) 3191
- 参加費：学生 10,000 円, 会員 50,000 円, 一般 80,000 円

#### 1st Int'l. Conf. on Intelligent and Cooperative Information Systems (ICICIS) (\*066)

- May 12-14, 1993
- The Netherlands
- Mika Papaxogiou  
QUT School of Information Systems  
Faculty of Information Technology  
GPO Box 2434,  
Brisbaec QLD 4001,  
Australia

#### 1993 Symposium on VLSI Technology (074)

- 1993 年 5 月 16 日 (日)～19 日 (水)
- 京都・京都グランドホテル
- 応用物理学会 VLSI シンポジウム委員会  
日本学会事務センター Tel. 03 (5814) 5800
- 論文締切：1993 年 1 月 13 日 (水)

#### 1993 Symposium on VLSI Circuits (075)

- 1993 年 5 月 19 日 (水)～21 日 (金)
- 京都・京都グランドホテル
- 応用物理学会 VLSI シンポジウム委員会  
日本学会事務センター Tel. 03 (5814) 5800
- 論文締切：1993 年 1 月 13 日 (水)

#### ECAL '93—Self-Organisation and Life from Simple Rules to Global Complexity (076)

- May 24—26, 1993
- Brussels, Belgium
- Centre for Non-Linear Phenomena and Complex Systems, CP 231, Université Libre de Bruxelles, 1050 Brussels, Belgium.

FAX: 32-2-650.5767, Phone: 32-2-650.5776/5796,  
EMAIL: sgoss@ulb.ac.be

4. Limit for the submission: December 31, 1992

#### 1993 Russian Workshop on High-Level Specification, Simulation and Verification of Digital and Mixed Analog/Digital Systems (077)

- 1993 年 7 月 18 日～21 日
- ロシア モスクワ市
- 日本電気(株)半導体事業グループ 柳川 隆之  
Tel. 044 (435) 1409

#### VLSI '93: IFIP Int'l. Conf. on VLSI (078)

- 1993 年 9 月 7 日～10 日
- フランス グルノーブル市
- 日本電気(株)半導体事業グループ 柳川 隆之  
Tel. 044 (435) 1409

#### 第 2 回 IEEE 国際ワークショップ「ロボットと人とのコミュニケーション」—ロボット/コンピュータと人との調和を目指して— (079)

- 1993 年 11 月 3 日 (水)～5 日 (金)
- 東京理科大学 (新宿区神楽坂)
- 東京理科大学工学部機械工学科 原文雄  
Tel. 03 (3260) 4271
- 論文締切：1993 年 5 月 15 日

#### Int'l. Symposium on Spoken Dialogue—New Directions in Human and Man-Machine Communication— (080)

- November 10-12, 1993
- Waseda University, Tokyo
- ISSD 93 secretariat  
c/o Shirai Lab., Dept. Information and Computer science, Waseda University,  
3-4-1, Okubo, Shinjuku-ku, Tokyo 169, Japan  
E-mail: issd93@shirai.info.Waseda.ac.jp,  
Fax: 81-3-3200-1399
- SUBMISSION OF ABSTRACTS: April 25, 1993

### 国内会議

#### 第 13 回 全日本マイクロマウス大会

- 平成 4 年 11 月 21 日 (土)～23 日 (月)
- 科学技術館 (東京都千代田区北の丸公園)
- (財)ニューテクノロジー振興財団  
Tel. 03 (3504) 1323, FAX 03 (3504) 1390

#### 第 49 回 産業用ロボット利用技術講習会

- 東京：1992 年 12 月 3 日 (木)～4 日 (金)  
(社)日本電機工業会
- 大阪：1992 年 12 月 10 日 (木)～11 日 (金)  
大阪社会福祉指導センター
- (社)日本産業用ロボット工業会  
Tel. 03 (3434) 2919, FAX 03 (3578) 1404
- 参加料：会員 25,000 円, 一般 26,000 円

**創造科学技術推進事業 (ERATO) 1992 研究報告会**

1. 1992年12月8日(火)～9日(水)
2. 経団連会館(大手町)
3. 新技術事業団 創造科学技術推進事業部  
Tel. 03 (3507) 3071
4. 入場無料

**システム制御情報イーブニングスクールチュートリアル  
講座「システム・制御・情報技術者のための電子回路入門」**

1. 1992年12月8日(火), 10日(木), 15日(火),  
17日(木), 22日(火)
2. 大阪マーチャングラズマートビル(大阪市中央区大手前)
3. システム制御情報学会 イーブニングスクール係  
Tel. 075 (751) 6413, FAX 075 (751) 6037
4. 聴講料: 会員30,000円, 学生20,000円,  
非会員40,000円

**第193回 講習会「今、時代を切り開くヒューマン・イ  
ンターフェース・テクノロジー」**

1. 平成4年12月11日(金)
2. 中央大学駿河台記念館(東京都千代田区)
3. (社)精密工学会  
Tel. 03 (3362) 1979, FAX 03 (3367) 0994
4. 参加費: 会員28,000円, 非会員42,000円, 学生無料

**第10回 光波センシング技術研究会講演会**

1. 1992年12月15日(火)～16日(水)
2. 三田出版会大阪事務所(大阪市北区中崎西)
3. 連企画気付「光波センシング技術研究会」事務局  
Tel. & FAX 03 (3433) 2543
4. 参加費: 一般10,000円, 学生2,000円

**講習会「テレビジョン画像の評価技術」**

1. 1992年12月24日(木)～25日(金)
2. 機械振興会館(東京都港区芝公園)
3. (社)テレビジョン学会 講習会係  
Tel. 03 (3432) 4677, FAX 03 (3432) 4675
4. 参加費: 正会員24,000円, 学生会員8,000円,  
会員外34,000円

**第7回「大学と科学」公開シンポジウム—国際化する日  
本語**

1. 平成5年1月8日(金)～9日(土)
2. 経団連ホール(東京都千代田区大手町)
3. 文部省学術国際局学術情報課気付 第7回「大学と科学」

公開シンポジウム組織委員会事務局  
Tel. 03 (3581) 4211 (内 2591)

**第42回 システム制御情報講習会「ウェーブレット/フ  
ラクタル/カオスの基礎と応用」**

1. 2. <大阪> 1993年1月21日(木)～22日(金)  
三田出版会(大阪市北区)  
<東京> 1993年2月4日(木)～5日(金)  
ダイヤモンド社(千代田区)
3. システム制御情報学会 第42回講習会係  
Tel. 075 (751) 6413, FAX 075 (751) 6037
4. 聴講料: 会員35,000円, 学生15,000円,  
非会員50,000円

**第20回 人工知能セミナー「メディア・アーキテクチャ」**

1. 1993年1月28日(木)
2. 日本ユニシス㈱中部支社教育センター(名古屋市中区栄)
3. (社)人工知能学会  
Tel. 03 (5261) 3401, FAX 03 (5261) 3402
4. 参加費: 会員12,000円, 非会員25,000円,  
学生4,000円

**第19回 国際会議のための準備セミナー**

1. 1993年2月20日(土)～21日(日)
2. 海外職業訓練センター研修施設(千葉市)
3. (社)日本工学会  
Tel. 03 (3475) 4621・5618, FAX 03 (3403) 1738
4. 参加費: 80,000円

**'93 新素材展**

1. 1993年5月18日(火)～21日(金)
2. 幕張メッセ(千葉市美浜区)
3. 日本経済新聞社 事業局総合事業部 新素材展事務局  
Tel. 03 (3243) 9082
4. 入場料: 1,000円

**第9回 ファジィシステムシンポジウム**

1. 1993年5月19日(水)～21日(金)
2. 北海道大学(札幌市北区)
3. 日本ファジィ学会事務局 Tel. 045 (212) 8253
4. 一般講演申込締切: 1993年1月15日(金)

**平成5年電気学会産業応用部門全国大会**

1. 平成5年8月25日(水)～27日(金)
2. 東京電機大学工学部神田校舎
3. (社)電気学会 産業応用部門全国大会係  
Tel. 03 (3201) 0983, FAX 03 (3201) 1983

**教官募集**



**○大学等情報関係教官募集**

**東京大学教養学部**

**募集人員** 教養学部助教授または講師（情報処理教育担当）1名  
**専門分野** 広い意味での情報科学・情報工学  
**応募資格** 上記分野の研究者で博士課程修了またはそれと同等の研究能力のある者。教養課程の情報処理一般教育の他、当学部の専門課程および大学院の教育と研究指導にあたる者。  
**採用時期** 平成5年4月1日以降  
**応募締切** 平成4年11月30日  
**問合せ先** 153 日黒区駒場 3-8-1  
 東京大学教養学部情報・図形科学教室 川合 慧  
 Tel. 03 (3467) 1171 (内 444) (応募要領を送付します。要返信用封筒)

**阪南大学商学部**

**募集人員** 助教授または講師1名  
**担当科目** 情報処理概論、情報処理実習及び「情報システム設計または知識情報理論の何れか」  
**応募資格** 大学院博士課程単位取得者またはこれと同等以上の研究能力のある者。専門分野における研究業績を有し、着任時の年齢が40歳未満であること。商

学・経営学・会計学の社会科学領域における応用に関心のあることが望ましい。  
**採用予定** 平成5年4月1日  
**提出書類** 履歴書、研究業績一覧表、研究業績現物（1点につき各3部、コピー可）〔主要な業績（著書および論文）と考えるもの3点にそれぞれ日本語で400字詰原稿用紙1枚程度要約をつけること〕、推薦書、最終学歴の卒業証明書、健康診断書。  
**応募締切** 平成4年12月10日  
**送付先** 580 大阪府松原市天美東 5-4-33  
 阪南大学商学部長 松田 清  
**問合せ先** 阪南大学教務課商学部教務係長 下条卓治  
 Tel. 0723 (32) 1224 (内 3122)  
 「応募書類在中」と朱書き書留。

**福岡工業大学電気工学科**

**募集人員** 教授1名  
**所属** 電気工学科  
**学科目** 機器制御工学または計測制御工学（電子回路、電気計測、制御工学、電気応用、計算機工学など）  
**専門分野** 電気・電子に関連した分野  
**応募資格** 電気・電子・情報などの工学分野において業績があり、博士の学位を有する者。  
 60歳以上が望ましい。  
**着任時期** 平成5年4月1日  
**応募締切** 平成5年1月9日  
**提出書類** 履歴書、研究業績リストおよび主要論文の別刷。  
**送付先** 811-02 福岡市東区和白東 3-30-1  
 福岡工業大学教務課長 石田隆男  
 Tel. 092 (606) 3131 (内 2242)  
 FAX 092 (606) 8923  
**問合せ先** 福岡工業大学電気工学科教室主任 鶴見一郎  
 (内 2424)  
**備考** 大学院（計画中）の研究指導も可能な者。

**雑報**



**○第9回（平成4年度後期）国際コミュニケーション基金の助成・援助募集**

**対象** 国際通信の普及・発展と国際間のコミュニケーションの促進を図り、世界の調和ある健全な発展に寄与することを目的とし、次の事業に対し、助成・援助を行います。  
 I. 国際通信の調和ある進歩・発展に寄与する調査研究  
 II. 国際通信に関する国際会議の開催  
 III. 国際通信に関する国際会議への参加  
 IV. 国際間でのコミュニケーションを促進する社会的・文化的諸活動  
 平成5年4月から平成6年9月末までに開催、実施および参加のものを対象とします。ただし、

Iについては1年～3年とします。  
 I. 1件あたり300～1,000万円程度。  
 II. 1件あたり最高300万円まで。  
 III. 海外で開催される国際会議への日本からの参加者または日本で開催される国際会議への海外からの参加者とし、1名あたり最高50万円まで。  
 IV. 1件あたり最高200万円まで。  
**申込期間** 平成4年11月2日（月）～11月30日（月）  
**問合せ先** 163 新宿区西新宿 2-3-2  
 (財)国際コミュニケーション基金 Tel.03(3347)7094

**○第7回 元岡記念会での講演と表彰**

去る11月7日（土）に元岡記念会が、東大隣りの学生会館分館で田中英彦先生の司会で開かれました。まず昨年表彰された相場（ICOT）、金田（日立）、坂井（電総研）、村上（NTT）および一昨年表彰の中田（日電）、半田（電総研）の6氏の記念講演があった。ついで本年の元岡賞が、和田英一先生の選考経過報告の後、次の5氏に授与されました。  
 一柳 洋（日電） 論理合成による VLSI 設計システムの研究  
 小池汎平（東大） 並列推論エンジンの研究  
 石畑宏明（富士通研） 分散メモリ型高並列計算機アーキテクチャの研究  
 山崎毅文（NTT） ノイズ事例からの知識自動獲得技術の研究  
 松井俊浩（電総研） MMD と EusLisp の開発

## 編集室



### 会員の声

●パラパラと見ていましたが、「Program Slicing 技術とテスト、デバッグ、保守への応用」の記事が大変良いサーベイとなっていて、大学院の講義や今後の研究に有効であったことをお伝えしたくてお送りしました。

佐々孝孝（東工大・理・情報科学科）

### 事務局だより

学会本部事務局（会員、編集、研究会、事業、国際、総務・経理）は、去る10月5日から、エステック情報ビル27階において、活動を開始いたしました。新事務所は、新宿駅西口から京王プラザホテルへ出る地下道を徒歩約5分の工学院大学とツインビルで、駅側が新宿郵便局、先が京王プラザホテルという地理的条件に恵まれた所にあります。また、事務室は東南に窓があり、眺望にも恵まれ、晴れた日には房総半島、横浜などを見ることができます。事務所の住所等は次のとおりです。

160 東京都新宿区西新宿一丁目24番1号

エステック情報ビル27階

社団法人 情報処理学会

電話 03 (5322) 3535 (代表)

FAX 03 (5322) 3534

e-mail iizuka@ipsj.or.jp

事務所移転の効果の一つとして、事務所内に会議室を20名使用なら3室として、または、20名と40名使用なら2室として利用できるように確保しておりますので、学会の各種会議等に是非ご利用ください。特に昼間帯は利用者が少ないと思われるので、ご利用をお勧めします。その他、研究発表会、シンポジウム等の会場については、工学院大学をお願いして順次確保していく計画となっています。また、数名で打合わせができるコーナを設けましたので、お気軽にご利用ください。

会員の皆さま方のご来局をお待ちしております。

これにより、学会活動の場と事務局が近くなりますので、事務局としてもさらに会員サービスの向上が図れるよう努力していこうと話しております。

なお、情報規格調査会（規格部）は、今までどおり、現在地の機械振興会館で活動いたしております。

第45回全国大会は徳島大学教養部において、10月11日にチュートリアル、10月12日から10月14日に大会が開かれ、無事終了いたしました。これは、島田四国支部長、徳島大学の高橋、青江、矢野、井上各先生を始めとする現地の方々、大会運営委員、座長ならびに、会員の方々のお骨折りの賜物であり、厚くお礼を申し上げます。大会における発表件数は1068件あり内容も得るべきものがあつたと存じますが、総参加者が約1600名と少なかったことは、最近の経済状況を反映して、発表者以外の参加者が少なかったためと考えられ、学会活動も社会の状況と密接な繋がりがあつたことを感じさせられた次第です。

(1992.10.25 飯塚 浩司)

